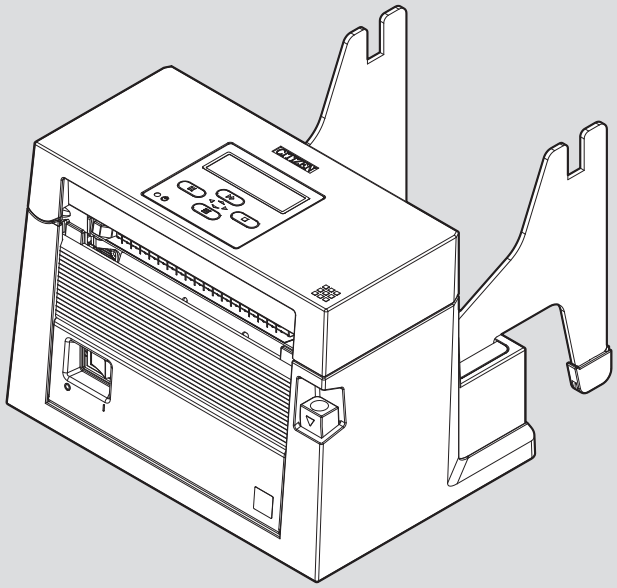
CITIZEN

ダイレクトサーマルプリンター

CL-S400DT II / CL-S403DT II

取扱説明書



ご使用の前に必ずお読みください

- ご使用前に必ず本書をよくお読みください。読み終わった後は大切に保管し、必要なときに読み直しできるようにしてください。
- 本書の内容は、予告無く変更されることがあります。
- いかなる手段によっても、本書の内容を無断で転写、転用、複写することを禁じます。
- 本書の運用結果につきましては、内容の記載漏れ、誤り、誤植等にかかわらず、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本書に指定されている製品以外のオプションや消耗品を使用した場合、その結果として発生したトラブルにつきましては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本書で指示している部分以外は絶対に手入れや分解、修理を行わないでください。
- お客様の誤った操作や取り扱い方法、使用環境に起因する損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- データなどは基本的に一過性の物であり、長期的、永久的な記憶、保存はできません。
- 故障、修理、検査などに起因するデータ損失の損害および損失利益などについては、当社は一切の責任を負えません。予めご了承ください。
- 本書の内容についての記載漏れや誤り、不明な点などございましたらご連絡ください。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

周波数帯について

使用上の注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーテーションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
   シチズン・システムズ株式会社
   営業窓口　電話（042）468-4993

- **Bluetooth モデル**
  本機は、2.4GHz 帯を使用する無線設備です。
  変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は約 10m 以下です。
  全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域は回避不可です。



- **無線 LAN モデル**
  本機は、2.4GHz 帯と 5GHz 帯を使用します。
  変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用し、与干渉距離は約 40m 以下です。
  全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域は回避可能です。
  ※ 5GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。5GHz で使用するときは屋内で使用してください。

◆ 本製品は、外国為替および外国貿易法に基づく輸出規制品です。
本品を輸出するとき、または外国に持ち出す際には、当社販売担当者までご連絡ください。

◆ 電波法に基づく認証について
本製品の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。認証表示は無線設備上に表示されています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、当社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本製品の無線装置を分解／改造すること。
- 本製品の無線装置に貼られている認証ラベルを剥がすこと。

Made for Apple バッジを使用することは、Apple が定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。Apple は、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。Apple 製品と本アクセサリの使用により無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

1： *Bluetooth*® は米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
2： CITIZEN はシチズン時計株式会社の登録商標です。
3： 本文中の会社名、商品名は各社商標、または登録商標です。
4： Ethernet およびイーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
5： QR コード、rMQR は (株) デンソーウエーブの登録商標です。
6： Zebra®、Eltron®、ZPL2 ™、EPL2 ™は米国 ZIH Corp. の登録商標または商標です。
7： PDF417 は米国 Motorola, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
8： UFST ™、Triumvirate は Monotype Imaging, Inc. の商標です。
9： TrueType ™は Apple Inc. の商標です。
10： Apple, Apple TV, Apple Watch, iPad, iPad Air, iPad Pro, iPhone, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. tvOS is a trademark of Apple Inc. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
11： ユポ紙は株式会社ユポ・コーポレーションの登録商標です。
12： Android、Google Play は米国 Google LLC 社の登録商標です。

Copyright© シチズン・システムズ株式会社 2026 年

安全上のご注意
– 必ずお守りください！ –

- お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。
- 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合いを次のように説明しています。

 **警告**	この表示を守らずに、誤った使い方をすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
 **注意**	この表示を守らずに、誤った使い方をすると「障害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。
 **注意**	マーク付近の部品が高温になります。 動作中または動作直後は手を触れないでください。触るとやけどをする恐れがあります。
 **警告**	用紙排出口部分にカッターがあります。 この部品に触れると怪我をする可能性がありますので、指を入れないでください。

：このマークは気をつけていただきたい「注意喚起」の絵表示です。

⚠警告

以下の事項は本機が破損もしくは故障したり、過熱、発煙する恐れがあり、火災、感電の原因となりますので絶対に行わないでください。破損、故障した場合は電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。

- 本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど強い力や衝撃を与えないでください。
- 通気性の悪い場所への設置や本機の開口部をふさぐような使用はおやめください。
- 実験室など化学反応を起こすような場所、空気が塩分やガスを含んでいるような場所への設置はおやめください。
- 指定された電源電圧（100V-240V）、周波数（50Hz or 60Hz）以外で使用しないでください。
- 電源コード、インターフェースケーブルの抜き差しをケーブルを持って行ったり、ケーブルに重さがかかる状態で本機を引っ張ったり、持ち運んだりしないでください。
- 本機内にクリップ、虫ピン等の異物を落としたり、入れないようにしてください。
- 電源コードのタコ足配線をしないでください。
- 本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲み物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。水などこぼした場合は、電源を切り電源コードをコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。
- 本機の分解、改造を行わないでください。

一般注意事項

本機を快適にご使用いただくために、守るべき注意事項です。必ずお読みください。

⚠注意

- プリンター内部にクリップ、ピンのような物を落とさないように注意してください。故障の原因となります。
- 本機の移動、持ち運びには十分注意してください。落下させると身体や他のものを傷つける恐れがあります。
- カバーを開けた場合には､完全にプリンターカバーを開けてから作業してください｡プリンターカバーが閉じて身体などを傷つける恐れがあります。
- カバーを開けた状態のときにはプリンターカバーに注意してください。エッジなどで身体を傷つける恐れがあります。
- 印字中にプリンターカバーを開けないでください。
- 本体ケース表面を清掃する場合、シンナー、トリクレン、ベンジン、ケトン系溶剤や化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 油、鉄粉、ごみ、ほこりなどの多い場所での使用は避けてください。
- 本機に液体をこぼしたり、薬剤を吹きかけたりしないでください。
- 本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど強い力や衝撃を与えないでください。
- コントロールパネル部の操作は丁寧に行ってください。乱雑な操作は故障､誤動作の原因になります。また、ペン先などの鋭利な物での操作は絶対に行わないでください。
- 使用中に異常が発生したら、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 故障のときは本機の分解を行わず、必ずサービスマンにお任せください。

設置上の注意事項

⚠注意

- 火気や水気のある場所、直射日光の当たる場所、暖房器具や熱器具のそば等、温度の異常に高い場所、低い場所、湿気やほこりの多い場所でのご使用、保管はしないでください。
- 実験室など化学反応を起こすような場所に設置しないでください。
- 空気が、塩分やガスを含んでいるような場所には設置しないでください。
- プリンターは水平で安定した卓上で、通気性のよい所に設置してください。（開口部は壁等で絶対に塞がないように注意してください。）
- 本機の上に物を載せないでください。
- ラジオやテレビの近くで使用したり同じコンセントを使用したりしますと受信障害の原因となることがありますので、注意してください。
- 指定された電圧、周波数以外で使用をしないでください。
- 電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり踏んだりしないでください。
- 電源コードまたはインターフェースケーブルを持って本体を引っ張ったり、持ち運びしないでください。
- 電源コードのタコ足配線は避けてください。
- 電源コードを束ねて使用しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- コネクタの接続は確実に行ってください。特に極性が逆に接続されると、内部の素子が破壊されることがあります。
- インターフェースケーブルの取り付けや取り外しは、必ず電源スイッチを“OFF”にしてから行ってください。
- 信号線を長く配線したり、ノイズの多い機器と接続したりすることは極力避けてください。やむをえず配線するときは各信号毎にシールド線、ツイストペア線などを使用するよう十分な対策をしてください。
- 機器の近くにコンセントがあり、かつそのコンセントから電源プラグを抜き、容易に電源を遮断できるように設置してください。
- コンセントは、アース端子止めネジ付タイプを使用してください。使用しないと、静電気でケガをする恐れがあります。

目　　次

ご使用の前に

ご使用の前に必ずお読みください....2
周波数帯について....3
安全上のご注意....5
一般注意事項....7
設置上の注意事項....8
製品概要....10

第 1 章　プリンターの準備

各部の名称とはたらき....11
電源の接続....16
ドライバーのインストール....16
コンピューターとの接続....17

第 2 章　プリンターの操作

電源の ON/OFF....18
通常動作モード....19
用紙のセット....21
用紙無駄なし機能 / 自動給紙機能....30
各種モードと設定....34
USB ホスト機能....48
エミュレーション自動切替....52

第 3 章　プリンターの調整

センサー調整....54
ヘッドオフセット調整....59
ヘッドバランス調整....60
プリンターのお手入れ....61

付　録

トラブルシューティング....62
仕　様....65
インターフェース....71

製品概要

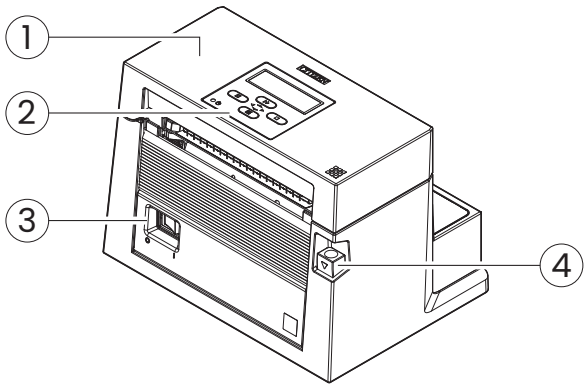
この度は CITIZEN ダイレクトサーマルプリンター モデル CL-S400DTII/CL-S403DTII をお買い求め頂きありがとうございます。本プリンターは、ラベル・タグ・チケット等の広い用途に開発された最大印刷速度 8 インチ / 秒、最大用紙幅 118mm（4.65inch）対応の製品です。

特　徴

- 32bit RISC CPU および履歴制御 IC による高速・高品位印刷
- 省スペースに役立つ設置面積を取らないコンパクト設計
- 操作パネルと電源スイッチを操作しやすい位置に配置
- 操作パネル上にはバックライト付き液晶を採用し、プリンターの状態を文字表示
- 用紙の装着、ヘッドクリーニングの簡単なフルオープンメカニズム
- ヘッドバランス調整・ヘッドオフセット調整・用紙センサー調整をユーザーが簡単に行える機構
- 用紙位置検出のためのセンサー位置が紙幅方向に調整可能なアジャスタブルセンサーを標準装備
- USB に加え、イーサネットインターフェースを標準搭載
- オプションインターフェースは、シリアル、パラレル、有線 / 無線 LAN、Bluetooth を用意
- 簡単に交換が可能なオートカッターユニットおよび剥離ユニット
- 大容量メディアが使用可能な大口径ロール紙ホルダー
- セットしたラベルの 1 枚目から印字できる用紙無駄なし機能を搭載
- カバーを閉めた状態でも用紙をセットできる自動給紙機能を搭載
- USB メモリーで設定の保存と変更 / ファームウェアの更新が可能

各部の名称とはたらき

本体前面



① プリンターカバー

用紙（ラベル）を交換またはセットするとき、上に開けます。

コントロールパネル (P13)

② コントロールパネル

各種設定の操作を行います。

電源の入れ方 (P18)

③ 電源スイッチ

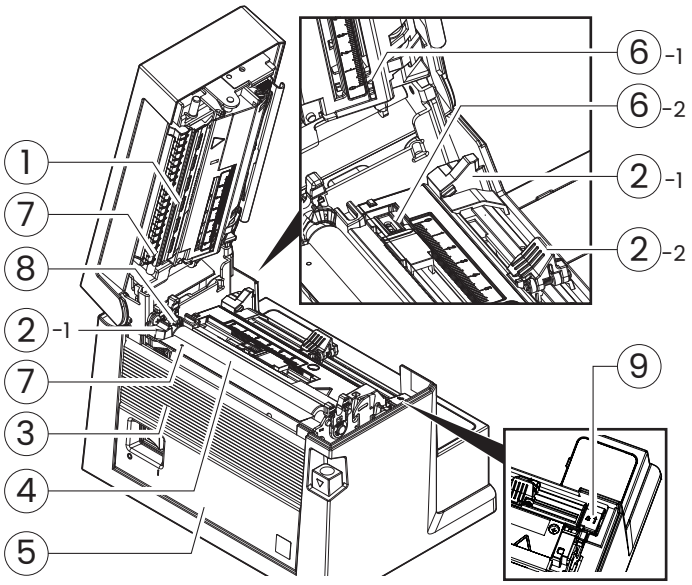
プリンター本体の電源スイッチです。

④ カバーオープンレバー

レバーを押すことによりプリンターカバーが上へ開けられ用紙をセットすることができます。印刷中はプリンターカバーをロックします。

各部の名称とはたらき

本体内部



① サーマルプリントヘッド

印刷用ヘッドです。

ロール紙のセット (P23)

② 用紙ガイド
（左側固定用紙ガイド（② -1）および可変用紙ガイド（② -2））

用紙端を左側固定用紙ガイドに合わせ、右側の可変用紙ガイドを用紙サイズに合わせて水平方向に移動させます。

③ フロントカバー

オプションユニットを装着する場合に取り外します。

④ プラテン

サーマルプリントヘッドと組み合わされ、用紙を前後に送ります。

⑤ スイッチカバー

オートカッターユニットおよび剥離ユニットのケーブルを接続する場合に開けます。通常の使用時は取り外さないでください。

センサー位置の設定 (P23)
センサー調整 (P54)

⑥ アッパーセンサー（⑥ -1）およびボトムセンサー（⑥ -2）

ラベル検出センサー (透過センサー) として使用する場合は、アッパーセンサーとボトムセンサーのセンサーマーキングを合わせて使用します。
黒線検出センサー (反射センサー) として使用する場合は、ラベル剥離紙の黒線の位置にボトムセンサーのセンサーマーカーを合わせて使用します。
連続紙検出センサー (反射センサー) として使用する場合は、ボトムセンサーを用紙の中央付近に移動させます。

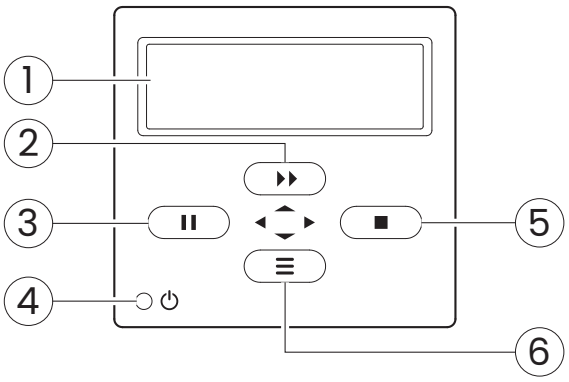
⑦ 用紙先端検出センサー

用紙の先端を検出します。

⑧ **プラテンノブ**
プラテンを取り付け / 取り外しする際に操作します。

⑨ **可変用紙ガイドロックレバー**
可変用紙ガイドを固定するレバーです。

コントロールパネル



LED の機能 (P20)

① **液晶ディスプレイ（LCD）**
プリンターの動作状態が表示されます。

② **フィードキー**
用紙送りをします。

通常動作モード (P19)

③ **ポーズキー**
印刷の一時停止をします。

LED の機能 (P20)

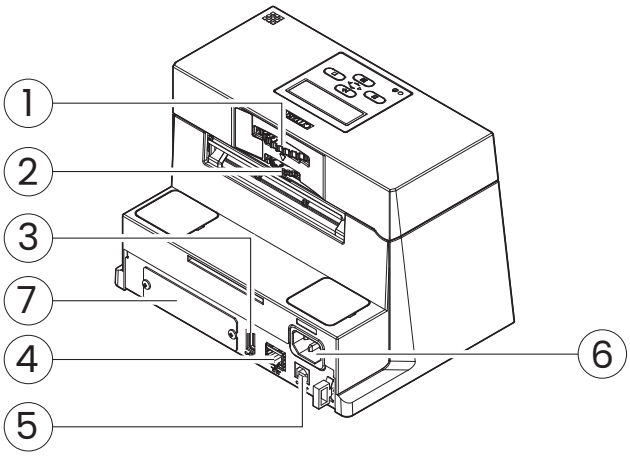
④ **電源 LED**
プリンターの電源を入れると点灯します。（緑色）
プリンターがアラーム状態のとき、点灯します。（赤色）

⑤ **キャンセルキー**
印刷の停止およびアラームを解除します。

⑥ **設定キー**
設定メニュー移行および再印刷を行います。

各部の名称とはたらき

本体背面



ヘッドバランス調整 (P60)

① ヘッドバランス調整ダイヤル
用紙の幅に合わせて調整します。

ヘッドオフセット調整 (P59)

② ヘッドオフセット調整ダイヤル
用紙の厚みに合わせて調整します。

USB インターフェース (P71)

③ USB ホストインターフェース（Type-A コネクタ）
USB メモリーを接続します。

有線 LAN インターフェース (P72)

④ 有線 LAN インターフェース
有線 LAN ケーブルでネットワークに接続します。

USB インターフェース (P71)

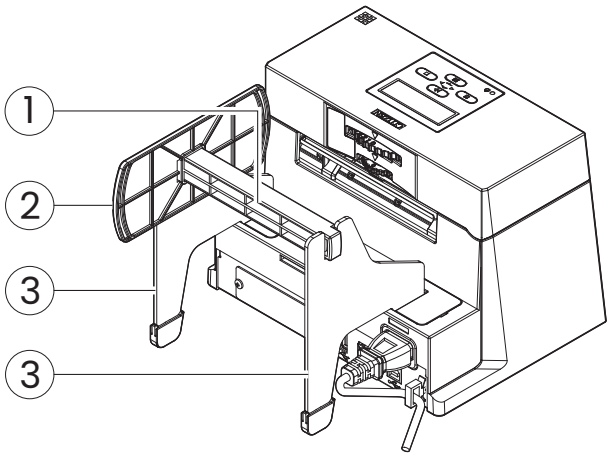
⑤ USB インターフェース（Type-B コネクタ）
USB ケーブルでホスト端末に接続します。

電源の接続 (P16)

⑥ 電源インレット
付属の電源コードのコネクタを接続します。

⑦ オプションインターフェース
インターフェースカバーを取り外して、オプションのインターフェースボードを追加で装着できます。オプションインターフェースを使用する場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

本体背面



① 用紙ホルダー

用紙ロールのコアを通します。

② 用紙ホルダーガイド

用紙サイズに合わせてガイドを水平方向に移動させます。引っ張ることによりガイドを外すことができます。

③ 用紙ホルダースタンド

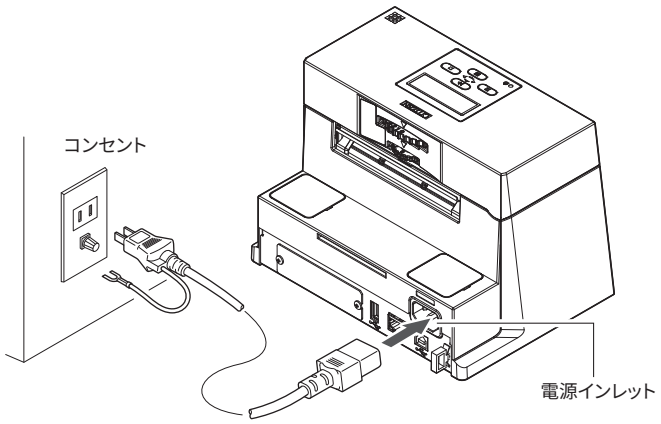
用紙ホルダーを設置するための台座です。

⚠注意

用紙ホルダースタンドの取り付けネジには、触れないでください。工場出荷時、用紙ホルダースタンドは最適な印字位置に調整されています。用紙ホルダースタンドの交換が必要な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

電源の接続

1. **プリンターの電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。**
2. **電源コードのコネクタをプリンター本体の電源インレットに差し込みます。**
3. **電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。**



⚠注意

コンセントは、アース端子止めネジ付タイプを使用してください。使用しないと静電気でケガをする恐れがあります。また、故障や漏電、落雷のときに感電する恐れがあります。

ドライバーのインストール

プリンタードライバーをホストコンピューターにインストールします。プリンタードライバーはシチズン・システムズのサポートサイトからダウンロードできます。
最新のドキュメント、ドライバー、ユーティリティなどが同サイトにて入手できます。

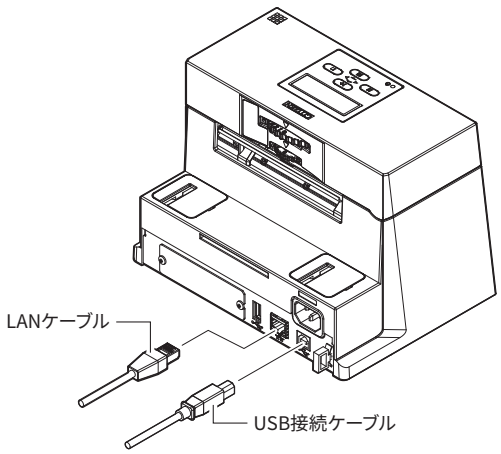
https://www.citizen-systems.co.jp/printer/download/

ダウンロードが終わりましたら、画面の案内に従いインストールを開始してください。

コンピューターとの接続

1. プリンターとコンピューターの電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。
2. プリンター背面のインターフェース・コネクタへの接続ケーブルをしっかりと差し込み、ロックネジがあるものはロックネジを締めて固定します。
3. 接続ケーブルのもう一方をコンピューターのインターフェース・コネクタへしっかりと差し込み、ロックネジがあるものはロックネジを締めて固定します。

有線 LAN インターフェース (P72)
USB インターフェース (P71)



注）オプションのインターフェースボードを使用する場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

⚠注意

有線 LAN インターフェースに USB ケーブルを接続しないようにしてください。コネクタが破損する恐れがあります。

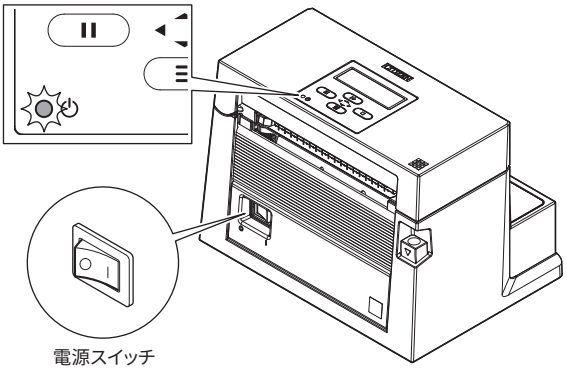
メモ

同時に複数のインターフェースを接続しないでください。

電源の ON/OFF

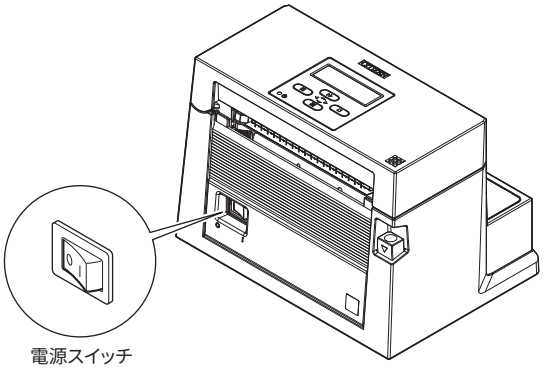
電源の入れ方

1. プリンター前面の電源スイッチ（❙）を押します。
2. コントロールパネルの“電源”LED が点灯します。



電源の切り方

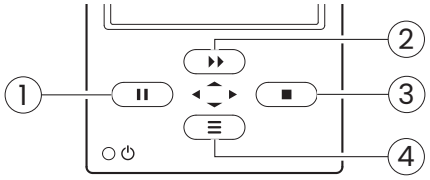
1. プリンター前面の電源スイッチ（O）を押します。
2. コントロールパネルの“電源”LED が消灯します。



通常動作モード

メニュー設定モード (P36)

電源投入時は通常動作モードになります。各操作ボタンには以下の機能があります。



① ポーズキー : 印刷を一時停止します。

- 一度押すとディスプレイに“ポーズ”と表示され、一時停止状態になります。
- 印刷中に押されたときは、印刷中のラベルを発行したあとに停止します。再度キーが押された場合は、印刷動作を再開し、枚数指定された残りのラベルを印刷します。
- 印字可能状態でポーズキーを 4 秒以上押すと、オートローディング設定を切り替えます。

② フィードキー : 用紙送りをします。

- 一度押すと用紙を送り、印刷開始位置で停止します。フィード量はラベル紙使用の場合は自動で紙の先頭を検出し、連続紙を指定した場合は一定量フィードしたあと停止します。
- 手切りの設定が有効の場合は、手切り位置まで用紙を送り停止します。
- オプションのカッターユニットが装着されている場合は、カット位置まで用紙を送りカット動作を行います。印刷後動作の機能選択メニューが「カット」に設定され、カッターユニットが搭載されている場合、フィード毎にカット動作を行います。
- オプションの剥離ユニットが装着されている場合は、剥離位置まで用紙を送ります。剥離位置に用紙が待機している状態では、フィード キーを押してもフィード動作は行いません。
- 印刷可能状態でフィードキーを 4 秒以上押すと、用紙を引き戻す動作を行います。

③ キャンセルキー : 印刷の停止およびアラームを解除します。

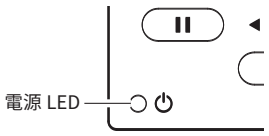
- 印刷中に一度押すとラベルの発行終了後にポーズ状態になります。さらにポーズ状態でキャンセルキーを 4 秒以上押すと、1 バッチ分のラベル発行データをキャンセルすることができます。(キャンセル中は“ジョブ取り消し”と表示されます。)
- 一度押すとヘッド抵抗値異常を示すアラームを解除できます。

④ 設定キー : メニュー設定モード選択や再印刷を行います。

通常動作モード時にこのキーを押すと、メニュー設定モードに入ります。印刷状態でこのキーを押すと再印刷を行います。ただし、「印刷後動作」メニューの「設定キー」機能を「再印刷」にした場合のみ動作します。

LED の機能

LED は通常動作モードのほかにプリンター本体に異常が検出されると、アラームが鳴り、電源 LED の点灯（赤色）でエラーの内容を表示します。また、エラーの内容はディスプレイにも表示されます。



アラームおよびエラー表示内容一覧

項　目　内　容	電源 LED	LCD 表示
印刷可能（エラーなし）	点灯（緑色）	印刷可能
キャンセルキー またはポーズキーが押されたとき	点灯（緑色）	ポーズ
ヘッド温度高温異常	点灯（赤色）	アラーム ヘッド高温
ヘッド温度低温異常	点灯（赤色）	エラー ヘッド低温
カッターモータ温度異常	点灯（赤色）	アラーム カッター高温
USB Host 電源供給異常	点灯（赤色）	アラーム USB ホスト異常
カバーオープン	点灯（赤色）	エラー カバー開放
ペーパーエンド	点灯（赤色）	エラー 紙無し
ペーパーロード（用紙頭出しができない）	点灯（赤色）	エラー 用紙頭だし
ペーパージャム	点灯（赤色）	エラー 紙位置検出
ヘッド抵抗値異常 *	点灯（赤色）	アラーム ヘッドチェック
通信エラー（受信バッファーオーバーラン）	点灯（赤色）	エラー シリアルオーバーラン
通信エラー（パリティ）	点灯（赤色）	エラー シリアルパリティ
通信エラー（フレーミング）	点灯（赤色）	エラー シリアルフレーミング
Bluetooth 通信エラー (送受信タイムアウト)**	点灯（赤色）	エラー BT タイムアウト
Bluetooth 通信エラー (フレーミング)**	点灯（赤色）	エラー BT フレーミング
システム異常	点灯（赤色）	エラー システム異常
オートカッター異常（噛み込みなど）***	点灯（赤色）	エラー カッター異常

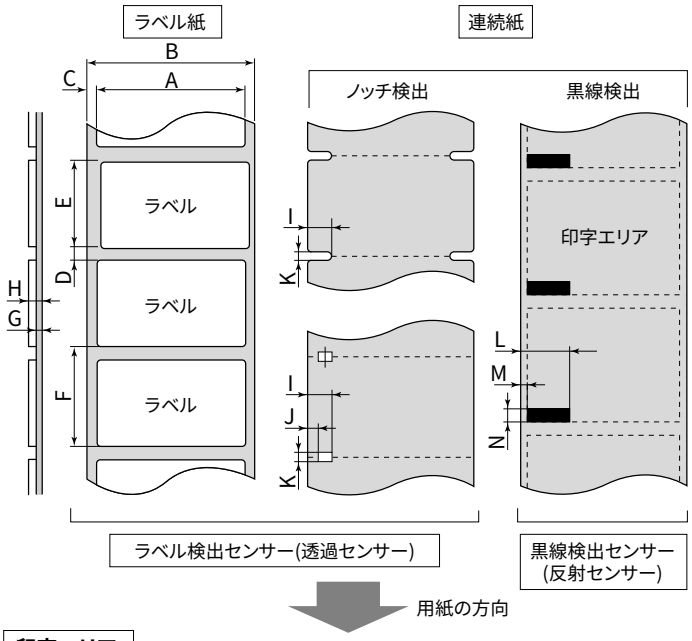
* キャンセルキーを一回押すとアラームが解除されます。
** Bluetooth インターフェースモデルのみ対応
*** オプションのオートカッター使用時のみ適用

用紙のセット

用紙サイズについて

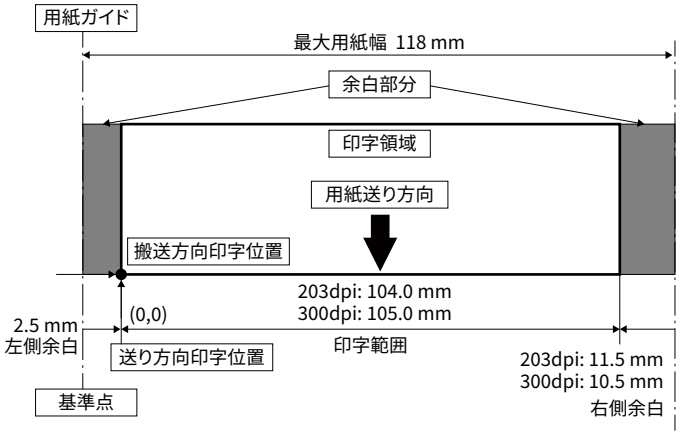
使用できる用紙の種類とサイズは以下の通りです。
ラベル、タグ紙の位置検出はラベル検出センサー (透過センサー) または黒線検出センサー (反射センサー) で行います。
ラベル検出センサー (透過センサー)：ラベル紙の紙間、タグ紙のノッチ検出
黒線検出センサー (反射センサー)：黒線検出

用紙サイズ



印字エリア

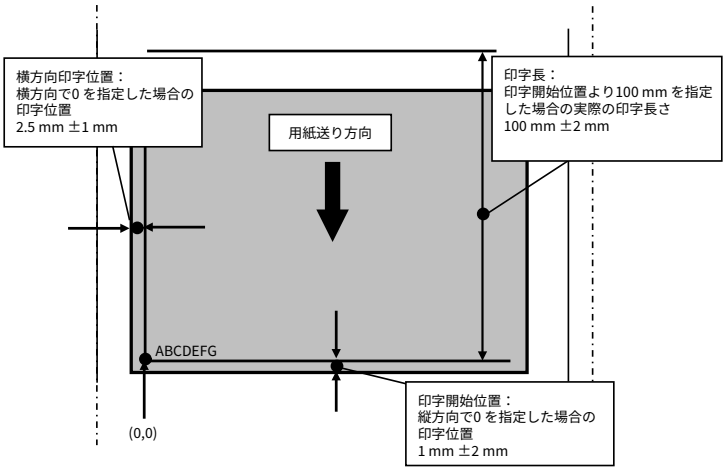
横方向印字開始位置は用紙ガイドから2.5 mm



用紙のセット

印字位置精度

ヘッド位置の印字位置精度



		最小値 mm (inch)	最大値 mm (inch)
A	ラベル幅	19.50 (0.77)	118.00 (4.65)
B	台紙幅	19.50 (0.77)	118.00 (4.65)
C	ラベル左エッジ位置	0 (0)	2.54 (0.10)
D	ラベル紙間長さ	2.54 (0.10)	2539.70※ (99.99※)
E	ラベル長さ	6.35 (0.25)	2539.70※ (99.99※)
F	ラベルピッチ	6.35 (0.25)	2539.70※ (99.99※)
G	台紙厚	0.06 (0.0025)	0.125 (0.0049)
H	用紙総厚	0.06 (0.0025)	0.25 (0.01)
I	ノッチ右端位置	3.60 (0.14)	60.80 (2.39)
J	ノッチ左端位置	0 (0)	57.20 (2.25)
K	ノッチ長さ	2.54 (0.10)	17.80 (0.70)
L	黒線右端位置	15.00 (0.59)	66.50 (2.62)
M	黒線左端位置	0 (0)	51.5 (2.02)
N	黒線幅	3.18 (0.125)	17.80 (0.70)

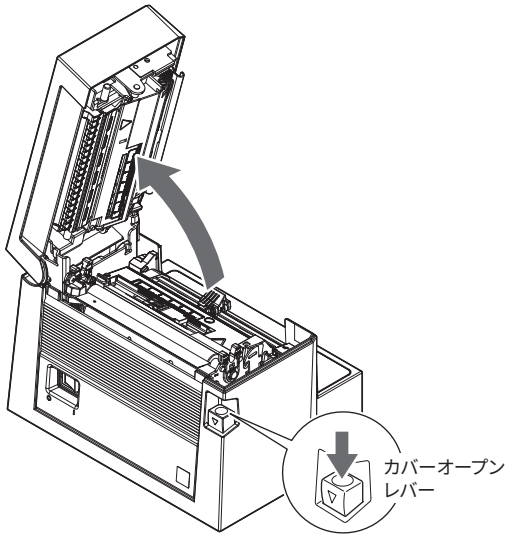
メニュー設定の一覧 (P42)

- ラベル紙間と黒線の両方がある用紙ではラベル検出センサー (透過センサー) をご使用ください。
- ノッチも黒線も無い用紙 (連続紙) では連続紙検出センサー (反射センサー) をご使用ください。
- ファンフォールド紙ではラベル検出センサー (透過センサー) をご使用ください。
- ラベル・ピッチ（F）が 1 インチ以下のラベル紙をご使用の場合は、メニュー設定モードの“小型ラベルピッチ”の値をご使用のラベル紙に合わせてください。
- ピーラーを使用する場合はミシン目入りの用紙は使用できません。（ファンフォールド紙含む）
- ミシン目入りの用紙を使用する場合は、ミシン目の間隔が 40 mm 以上を推奨します。
- 用紙の仕様につきましては全ての組み合わせを保証するものではありませんので、事前にお問い合わせください。

※ CL-S403DTII の場合は 1625.60 mm (64.00 inch)

ロール紙のセット

1. カバーオープンレバーを押すと、プリンターカバーが開きます。さらにプリンターカバーを手で持ち上げると、図の位置まで開くことができます。

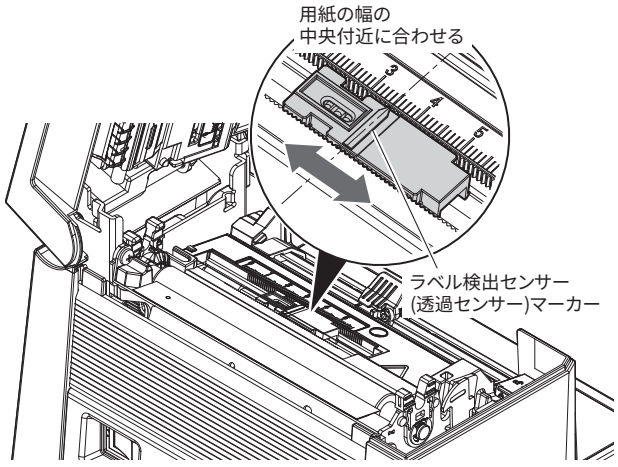


2. センサー位置の設定

センサーの選択方法 (P54)
ラベル検出センサー (透過センサー) の調整 (P55)

■ ラベル検出センサー (透過センサー) を使用する場合

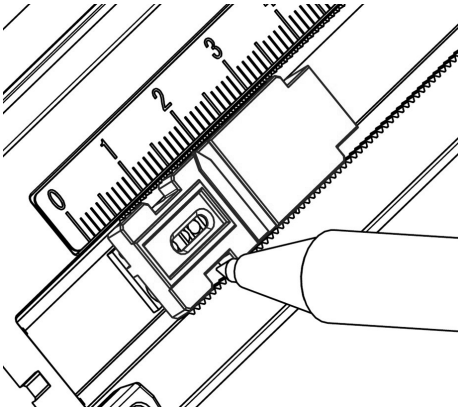
① ボトムセンサーを用紙の幅の中央付近に移動させます。



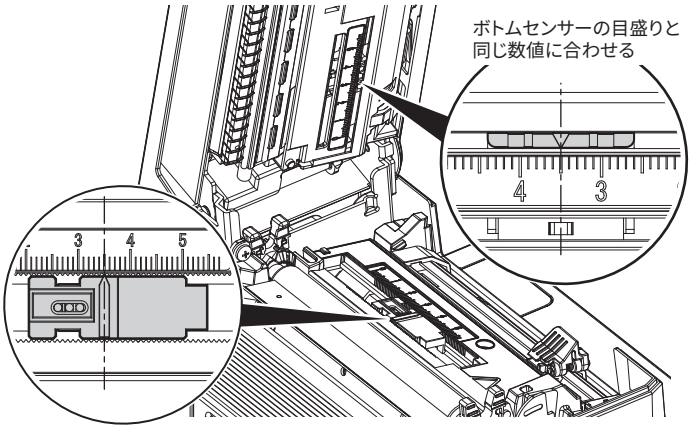
黒線の入った用紙は黒線が用紙センサーに掛からないように注意してください。

用紙のセット

※ボトムセンサーを移動させる際は、下図のようにペンの先端等をボトムセンサーの溝部に差し込んで移動させます。



② 次に、アッパーセンサーのマーカーの目盛りが、ボトムセンサーの目盛りと同じ数値になるように、アッパーセンサーの位置を調整します。



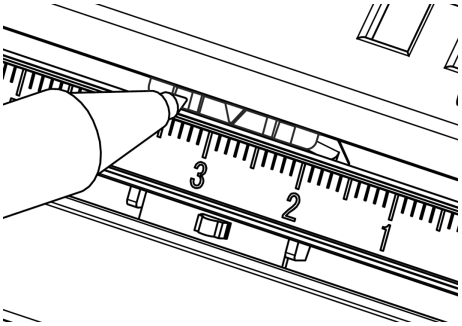
< ボトムセンサーのマーカーの目盛りが 3.5 の場合 >

4 インチ幅の用紙を使用した場合、アッパーセンサーとボトムセンサーは右側（カバーオープンレバー側）へいっぱいに寄せた位置となります。

⚠注意

ボトムセンサーとアッパーセンサーの位置を必ず一致させてください。

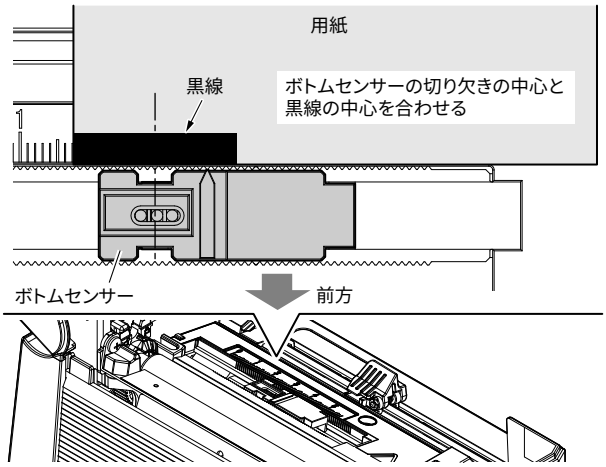
※アッパーセンサーを移動させる際は、下図のようにペンの先端等をアッパーセンサーの溝部に差し込んで移動させます。



黒線検出センサー (反射センサー) の調整 (P56)

■ 黒線検出センサー (反射センサー) を使用する場合

下記の図の様に用紙の黒線の中央にボトムセンサーの黒線検出センサー (反射センサー) マーカーが来るようにセンサーの位置を調整してください。



⚠注意

ボトムセンサーの真上にアッパーセンサーを設置しないでください。
正常に動作しないことがあります。

用紙のセット

連続紙検出センサー (反射センサー) の調整 (P57)

■ 連続紙検出センサー (反射センサー) を使用する場合

ボトムセンサーを用紙の幅の中央付近に移動させます。

黒線の入った用紙は黒線が用紙センサーに掛からないように注意してください。

4 インチ幅の用紙を使用した場合、ボトムセンサーは右側（ヘッドオープンレバー側）へいっぱいに寄せた位置となります。

⚠注意

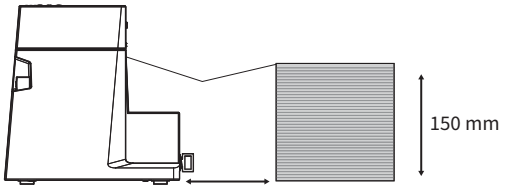
ボトムセンサーの真上にアッパーセンサーを設置しないでください。
正常に動作しないことがあります。

3. プリンターに用紙をセットします。
   用紙を左側の固定用紙ガイドに合わせ、右側の可変用紙ガイドを用紙幅に合わせます。

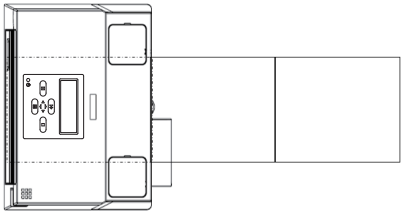
   ■ ファンフォールド紙を使用する場合

   本体背面に用紙をセットしてください。

   ファンフォールド紙は、下図のようにプリンターと一定の間隔を空け、同じ高さに設置し、プリンターと平行になるようにしてください。

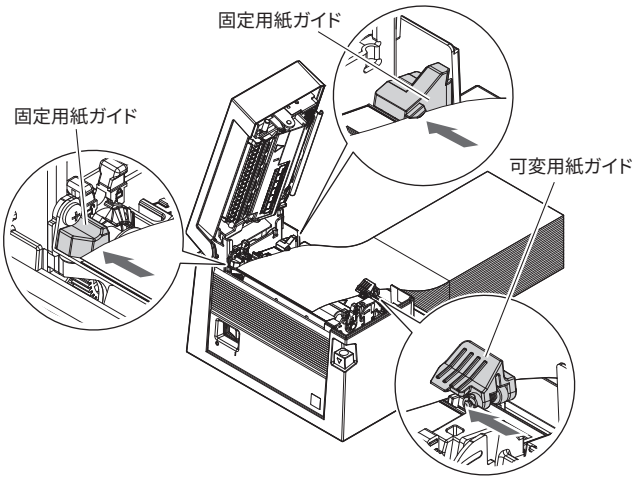


ラベル長さ+ 50 mm 以上



プリンターとファンフォールド紙は平行に設置する

用紙サイズについて (P21)

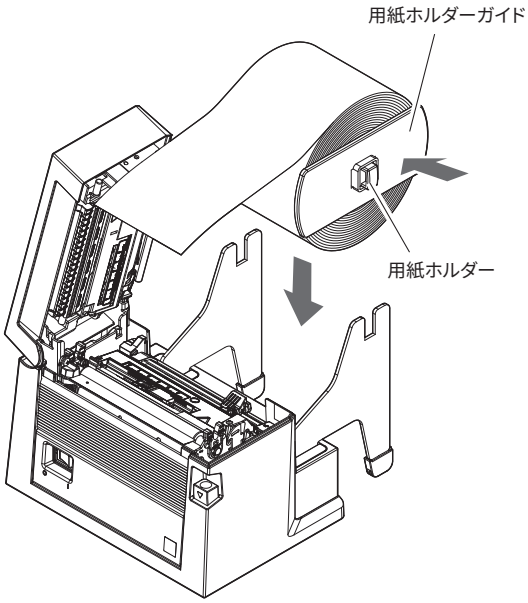


注) 必ず、指定したとおりの手順で用紙をセットしてください。
ジャムする恐れがあります。

■ ロール紙を使用する場合

① はじめに用紙ホルダーと用紙ホルダーガイドを組み立ててください。

② ①で組み立てた用紙ホルダーに用紙ロールのコアを通します。プリンターの正面から見て、用紙の右側に用紙ホルダーガイドをセットします。



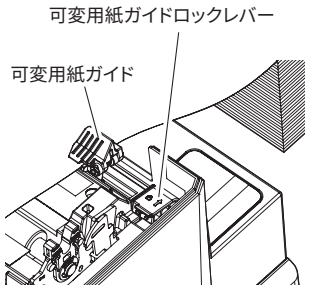
③ 上記のように用紙をプリンターにセットしてください。

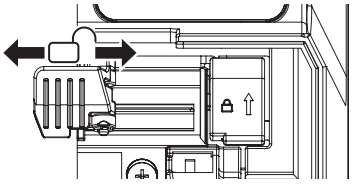
用紙のセット

④ 用紙を左側にスライドさせ、それに合わせて用紙ホルダーガイドを用紙に押し当てます。

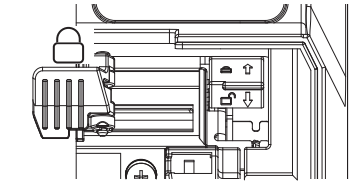
注）用紙をセットする際は、用紙および用紙ホルダーガイドを左側に強く押し当てないでください。用紙が正常に送られず、ジャムする恐れがあります。

4. 可変用紙ガイドを固定します。
可変用紙ガイドロックレバーを回して、可変用紙ガイドを固定します。





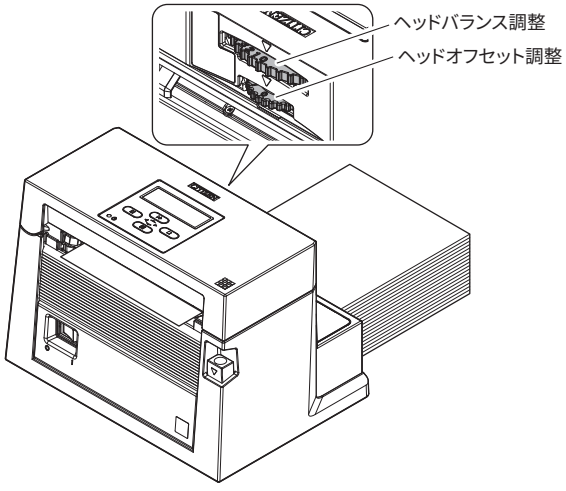
可変用紙ガイドを左右にスライド可能



可変用紙ガイドを固定

ヘッドオフセット調整 (P59)
ヘッドバランス調整 (P60)

5. プリンターカバーを下げ、ロックします。
装着した用紙に合わせて、「ヘッドバランス調整」および「ヘッドオフセット調整」を行ってください。各調整方法は「第 3 章 プリンターの調整」を参照してください。



6. センサーの選択
   電源が入った状態で、設定キーを押しながらキャンセルキーを 4 秒以上押します。押す毎にブザーが鳴りラベル検出センサー (透過センサー)、黒線検出センサー (反射センサー)、連続紙検出センサー (反射センサー) が切り換わります。
   ラベル検出センサー (透過センサー) が選択されると 1 回ブザーが鳴り、" 透過 " と表示されます。
   黒線検出センサー (反射センサー) が選択されると 2 回ブザーが鳴り、" 反射 " と表示されます。
   連続紙検出センサー (反射センサー) が選択されると 3 回ブザーが鳴り、" 連続紙 " と表示されます。
7. コントロールパネルのフィードキーを押すと、用紙を送り印刷開始位置で停止します。

ミシン目の入った用紙のカット位置

手切りの場合は、ミシン目上の位置でカットしても構いません。
用紙停止位置を調整する場合は、縦方向印刷位置を用紙停止位置より大きな値で設定してください。バックフィード時、用紙がプラテンから外れる可能性があります。
各設定の調整は、プリンタードライバーまたはラベルプリンターユーティリティで行ってください。

用紙無駄なし機能 / 自動給紙機能

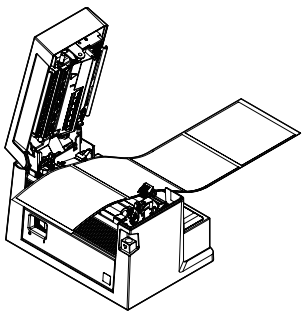
[印刷設定] メニュー内の“オートローディング”を“On”にすることで「用紙無駄なし機能」および「自動給紙機能」が有効になります。

用紙無駄なし機能

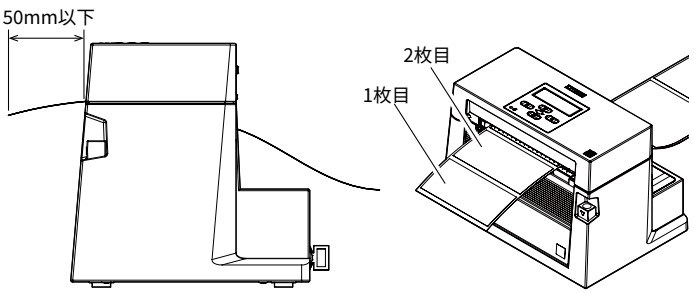
電源投入後の最初の 1 枚目、または電源 On 状態でプリンターカバーを閉じた際、用紙の頭出しのため空白ラベルが 1 枚紙送りされます。
“オートローディング”を“On”にすることで、用紙を無駄にせず、セットしたラベルの 1 枚目から印刷ができるようになります。

■ 用紙無駄なし機能使用時の用紙のセット方法

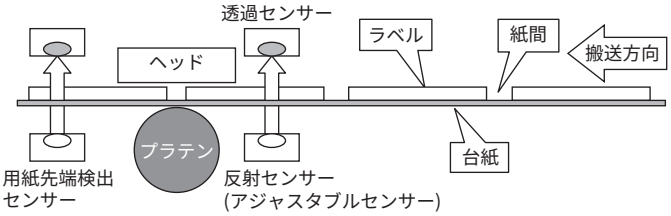
1. ラベルの先端をプリンター前面より出した状態でラベルをセットします。



この時、プリンター前面に出すラベルの長さは 50mm 以下且つ出すラベルは 1 枚にしてください。
プリンター前面に出すラベルの長さが長いとバックフィードしてもラベルの先端が検出できず、「用紙頭出しエラー」になります。
また、バックフィードしたときの最初のラベル先端を検出するため、ラベルが 2 枚以上出ている場合、1 枚目から印刷はできません。
短ピッチラベルを使用して、意図的にラベル 1 枚だけをプリンター前面に出すのが難しい場合、「強制的に 1 枚目から印字する」を参照してください。コマンドセット設定が”ZPI2”の場合、1 枚目を適切な位置で印刷するために連続紙用紙長設定をラベルの長さに設定してください。

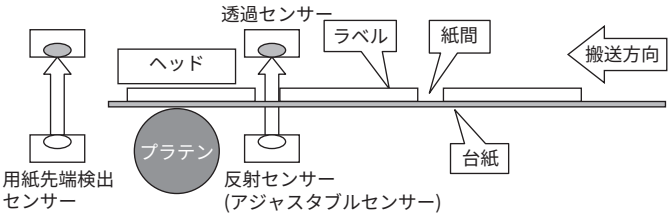


ラベルは、用紙先端検出センサーにラベルが掛かるようにセットしてください。

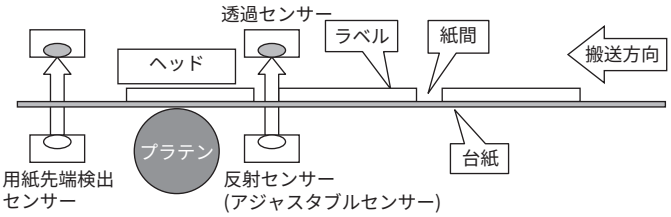


用紙先端検出センサーにラベルが掛かっていない場合、または用紙先端検出センサーに台紙のみがかかっている場合、本機能は使用できません。

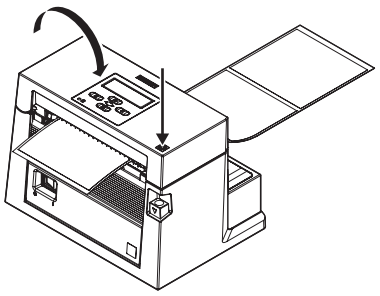
・用紙先端検出センサーにラベルが掛かっていない



・用紙先端検出センサーに台紙のみが掛かっている

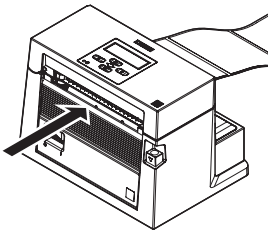


2. プリンターカバーを閉じます。

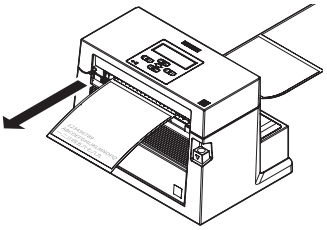


用紙無駄なし機能 / 自動給紙機能

3. 用紙先端検出センサーで用紙の先端を検出するまでバックフィードします。
   バックフィード中は、LCD に「オートローディング」と表示されます。



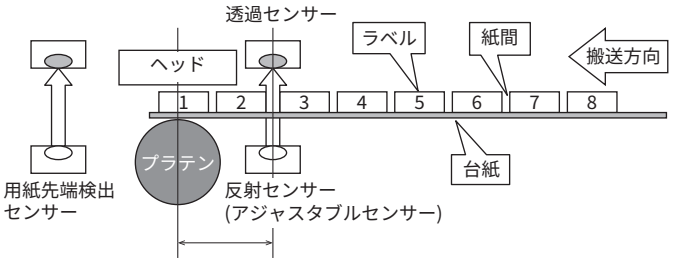
4. 印刷を実行すると用紙の 1 枚目から印字することができます。



■短ピッチラベルで用紙無駄なし機能を使用する場合

ラベルピッチが 30 mm 以下のラベルを使用する場合、[印刷設定] の“小型ラベル測長”を“電源 On/ ヘッドダウン”または“電源 On”に設定してください。
“小型ラベル測長”が“Off”だと、サーマルプリントヘッド～アジャスタブルセンサー間に存在するラベルをスキップしてしまいます。

1 枚目を用紙検出センサーで検出し 1 枚目から印刷を行う時に、次の 2 枚目の先頭はアジャスタブルセンサーで検出して印刷を行います。
そのため、サーマルプリントヘッド～アジャスタブルセンサー間に複数枚ラベルが存在すると、下記の例では 2 枚目のラベルをスキップして、3 枚目のラベルに印刷をしてしまいます。



“小型ラベル測長”を“電源 On/ ヘッドダウン”または“電源 On”に設定すると、用紙検出センサーで 1 枚目のラベル先端を検出する前に、ラベルピッチの測長を行います。
ラベルを搬送方向に紙送りし、ラベルの先端から次のラベルの先端までの距

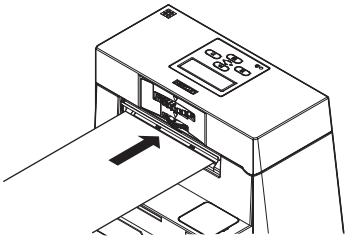
離（ラベルピッチ）を測長します。
ラベルピッチを測長する事で、サーマルプリントヘッド～アジャスタブルセンサー間に何枚ラベルが存在するかを算出し、スキップすることなく印刷が可能になります。
電源 On/ ヘッドダウン：　プリンターの電源を On した時とプリンターカバーを閉じたときに測長
電源 On：プリンターの電源を On したときに測長
測長中は LCD に [ラベル測長中] と表示されます。測長が完了すると [オートローディング] と表示され、1 枚目のラベル先端検出へと移行します。

■強制的に 1 枚目から印刷する
短ピッチラベルで用紙無駄なし機能を使用する時など、意図的にラベル 1 枚だけをプリンター前面に出すのが難しい場合、[印刷設定] の“先端バックフィード”を“On”にしてください。
“先端バックフィード”が“On”の状態で、ラベルをセットしてプリンターカバーを閉じると、LCD 上に [先端バックフィード][する] と表示されます。
フィードキーもしくは設定キーを押す事で [する][しない] を切り替えることができます。
強制的に 1 枚目から印字したい場合は [する] と表示された状態でキャンセルキーを押します。
バックフィードして 1 枚目のラベル先端を検出し、停止します。
バックフィード中は [オートローディング] と表示されます。
[しない] でキャンセルキーを押した場合は何も起こりません。



自動給紙機能

プリンター背面から用紙を差し込むことで、プリンターカバーを開けずに用紙をセットすることができます。
また、本機能で用紙をセットした場合、用紙先端（ラベルの場合は 1 枚目）からの印字になります。



⚠注意

自動給紙機能はファンフォールド紙や単票紙を使用してください。
ロール紙のようなカールの付いた用紙は使用できません。

各種モードと設定

下記組み合わせでキーを押しながら電源を投入すると各機能へ移行します。

コントロールパネル (P13)

モード名	キーの操作
HEX ダンプモード	キャンセルキーを押しながら、電源 ON
セルフ印刷モード	フィードキーを押しながら、電源 ON
設定内容印刷モード メニュー設定モード	設定キーを押しながら、電源 ON

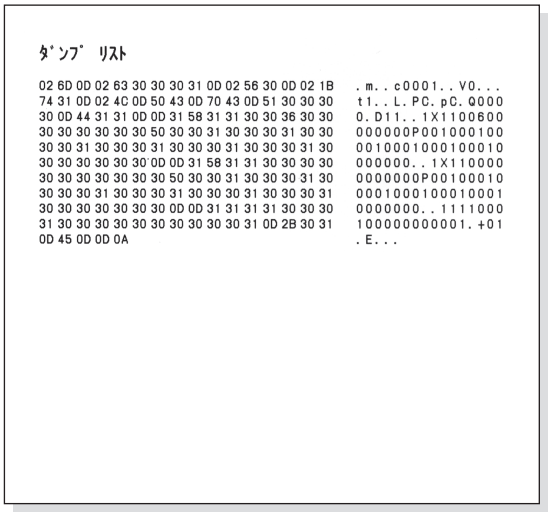
HEX ダンプモード

● ラベル紙の場合

キャンセルキーを押しながらプリンターの電源を投入します。ディスプレイに“HEX ダンプ ラベル紙”と表示されたら、キャンセルキーを離してください。HEX ダンプモードに入ります。

● 連続紙の場合

キャンセルキーを押しながらプリンターの電源を投入します。ディスプレイの表示が“HEX ダンプ ラベル紙”から“HEX ダンプ 連続紙”に切り換わったら、キャンセルキーを離してください。HEX ダンプモードに入ります。



ダンプリスト

* HEX ダンプモードから抜ける場合は、プリンター本体の電源を切り、再度電源を入れ直して（再起動）ください。

セルフ印刷モード

セルフテスト印刷を行うモードです。セルフテスト印刷を行う事で、プリンターの設定状態、画質状態を簡単に知ることができます。
用紙をセットして以下の操作を行ってください。

用紙のセット (P21)

● ラベル紙の場合

フィードキーを押しながらプリンターの電源を投入します。ディスプレイに“セルフ印字 ラベル紙”と表示されたら、フィードキーを離してください。セルフ印刷モードに入り、用紙がフィードされたあと、2 枚印刷して停止します。
再度印刷したい場合は、もう一度フィードキーを押してください。

● 連続紙の場合

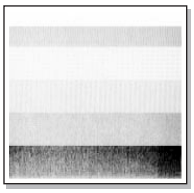
フィードキーを押しながらプリンターの電源を投入します。ディスプレイの表示が“セルフ印字 ラベル紙”から“セルフ印字 連続紙”に切り換わったら、フィードキーを離してください。セルフ印刷モードに入り、印刷して停止します。
再度印刷したい場合は、もう一度フィードキーを押してください。



セルフ印刷パターン

セルフテスト印刷を行い、下記のようなパターンが印刷された場合は、「ヘッドバランス調整」および「ヘッドオフセット調整」を行ってください。
各調整方法は「第 3 章　プリンターの調整」を参照してください。

ヘッドオフセット調整 (P59)



左のサンプルは、「ヘッドオフセット調整」が適切でない場合の例です。
標準の用紙の場合は、
調整ダイヤルを「1」の位置にセットしてください。

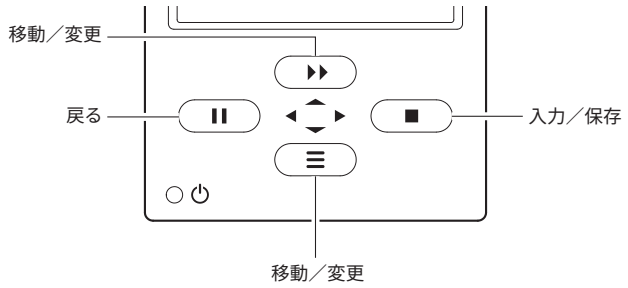
ヘッドバランス調整 (P60)



左のサンプルは、「ヘッドバランス調整」が適切でない場合の例です。
4 インチ（約 102mm）幅の用紙の場合は、調整ダイヤルを「9」の位置にセットしてください。

メニュー設定モード

プリンターが印刷可能状態のときに設定キーを押すと、メニュー設定モードに入ります。メニュー設定モードでは、プリンターの各種設定を変更することができます。液晶ディスプレイに現在のメニュー設定およびキー機能が表示されます。



■ 各キーの機能

メニュー設定モードに入ると、液晶ディスプレイの一番上に“メニュー”と表示され、その下に“印刷設定”と表示されます。
メニュー設定モード中は、4 つのキーがカーソルキーとなりメニューの選択および変更を行います。キーの名称ではなく、キーパッド中央の矢印（▲,▼,►,◄）を参考にしてください。

フィードキー (移動／変更) :

▲ キー（フィードキー）でメニュー内を上に移動したり、より大きい値を選択します。

設定キー (移動／変更) :

▼ キー（設定キー）でメニュー内を下に移動したり、より小さい値を選択します。

キャンセルキー (入力／保存) :

► キー（キャンセルキー）でサブメニューに入り、項目の選択や保存をします。

ポーズキー (戻る) :

◄キー（ポーズキー）で現在の項目を終了し（前に戻る）、最終的にメニュー設定モードを終了します。

変更したメニュー設定は一時的に保存されますが、電源を落とすと元に戻ります。データを保存する場合は、“設定を保存” で “する” を選択してください。

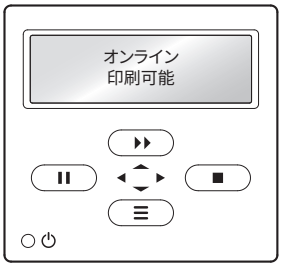
⚠注意

プリンターが“設定を保存”を実行中に電源を切ると、保存できないことがあります。“設定を保存”を実行中には電源を切らないでください。誤って電源を切った場合は、プリンター本体の初期化処理をしてください。

設定メニューの変更例

［印刷設定（トップメニュー）］の“印刷濃度（サブメニュー）”の設定値を“12”から“14”に変更する方法を説明します。

1. メニュー設定モードへ入ります。
   液晶ディスプレイに“オンライン 印刷可能”と表示されていることを確認し、設定キーを押してください。

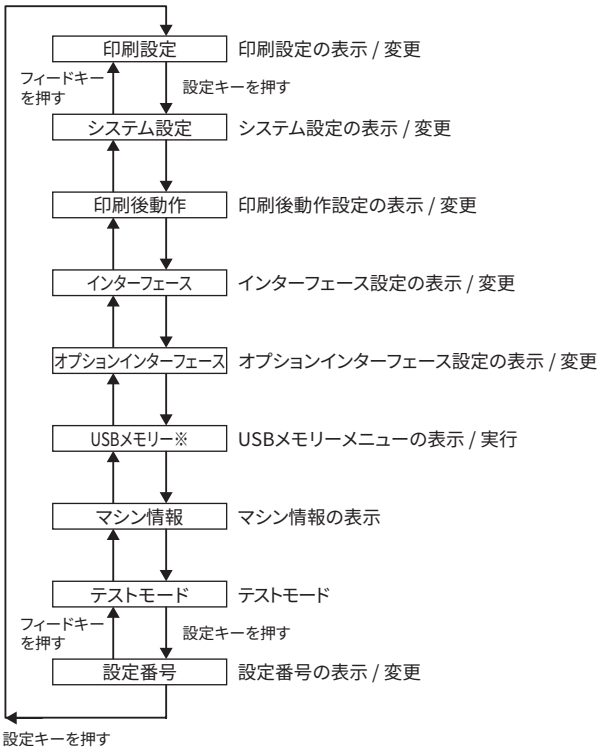




現在のトップメニューが表示されます

各キーの機能
▲キー: 前のトップメニューを表示します。
▼キー: 次のトップメニューを表示します。
►キー: “印刷設定”のサブメニューに入ります。
◄キー: 設定保存に入ります。

< トップメニュー項目の流れ >

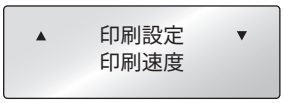


※ USB ホスト設定が“ON”の時または“自動”で USB ホストモード時、利用可能な USB メモリーを USB ホストコネクタに装着すると Menu が表示されます。

各種モードと設定

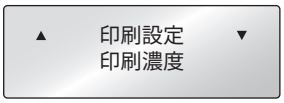
設定メニューの変更例 (P37)

2. サブメニューに入ります。
►キーを押してください。サブメニューの“印刷速度”が表示されます。



各キーの機能
▲キー : 前のサブメニューを表示します。
▼キー : 次のサブメニューを表示します。
►キー : 選択したサブメニューの設定値を表示します。
◄キー : トップメニューに戻ります。

3. サブメニューの“印刷濃度”を選択します。
▼キーを 1 回押して“印刷濃度”を表示させてください。



4. “印刷濃度”の設定値を表示します。
►キーを押すと、現在の設定値である“12”が表示されます。



各キーの機能
▲キー : 現在の値より大きい値を表示します（この例では 13）。
▼キー : 現在の値より小さい値を表示します（この例では 11）。
►キー : 現在の値を一時的に保存します。
◄キー :“印刷濃度”を終了します。値の変更は行われません。

5. “印刷濃度”の値を“14”に変更します。
▲キーを 2 回押して“14”を表示させてください。
次に、►キーを押してこの値を一時的に保存します。



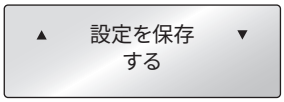
6. 変更した設定値を保存します。
この操作をしないと電源を切ったときに、変更した設定値は失われます。

保存する場合

① ◀キーを 2 回押して、“設定を保存しない”を表示させてください。



② ▲キーまたは▼キーを押して“設定を保存する”を表示させてください。



③ ▶キーを押してください。
新しい設定を保存し、“オンライン”画面に戻ります。



■ インターフェース設定を変更したとき
トップメニューの［インターフェース］の項目を変更した場合は、プリンターの再起動が必要になります。以下の手順で再起動を行ってください。

④ “設定を保存 する”を選択すると右の画面が表示されます。



⑤ ▲キーまたは▼キーを押して“再起動 する”を表示させてください。
⑥ ▶ キーを押すとプリンターが再起動します。



保存しない場合

① ◀ キーを 2 回押して、“設定を保存しない”を表示させてください。



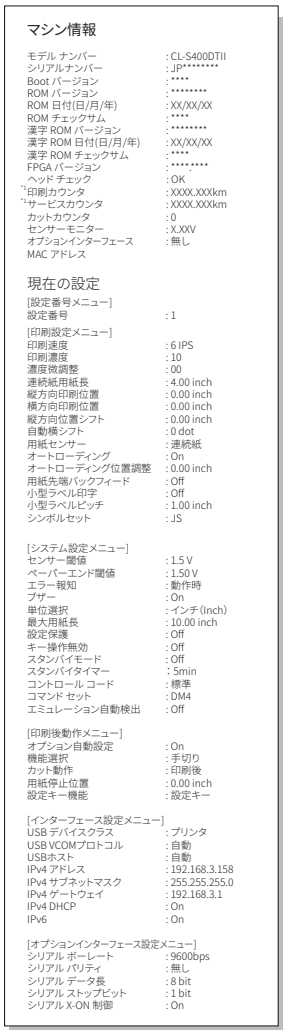
② ▶キーを押してください。
“オンライン”画面に戻ります。
電源を切ったときに、新しい設定値は失われます。



設定値の一覧を印刷する

設定値の一覧を印刷して確認することができます。印刷する方法は 2 通りあります。

- 設定キーを押しながらプリンターの電源を投入します。電源 LED が点灯し、ディスプレイに“設定内容印刷”と表示され、印刷を開始します。
  印刷終了後は、メニュー設定モードになります。
- メニュー設定の“テストモード→印刷パターン→現在の設定”で印刷することができます。



マシン情報

モデル ナンバー	: CL-S400DTII
シリアルナンバー	: JP********
Boot バージョン	: ****
ROM バージョン	: ********
ROM 日付(日/月/年)	: XX/XX/XX
ROM チェックサム	: ****
漢字 ROM バージョン	: ********
漢字 ROM 日付(日/月/年)	: XX/XX/XX
漢字 ROM チェックサム	: ****
FPGA バージョン	: ********
ヘッド チェック	: OK
*1印刷カウンタ	: XXXX.XXXkm
*1サービスカウンタ	: XXXX.XXXkm
カットカウンタ	: 0
センサー モニター	: X.XXV
オプションインターフェース	: 無し
MAC アドレス	

現在の設定

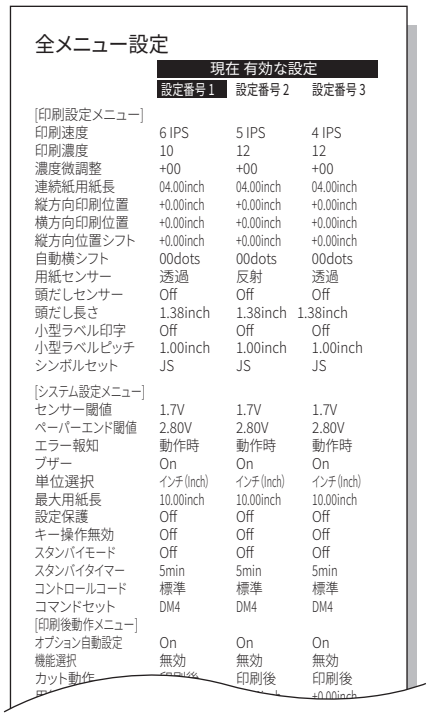
[設定番号メニュー]	
設定番号	: 1
[印刷設定メニュー]	
印刷速度	: 6 IPS
印刷濃度	: 10
濃度微調整	: 00
連続紙用紙長	: 4.00 inch
縦方向印刷位置	: 0.00 inch
横方向印刷位置	: 0.00 inch
縦方向位置シフト	: 0.00 inch
自動横シフト	: 0 dot
用紙センサー	: 連続紙
オートローディング	: On
オートローディング位置調整	: 0.00 inch
用紙先端バックフィード	: Off
小型ラベル印字	: Off
小型ラベルピッチ	: 1.00 inch
シンボルセット	: JS
[システム設定メニュー]	
センサー閾値	: 1.5 V
ペーパーエンド閾値	: 1.50 V
エラー報知	: 動作時
ブザー	: On
単位選択	: インチ(Inch)
最大用紙長	: 10.00 inch
設定保護	: Off
キー操作無効	: Off
スタンバイモード	: Off
スタンバイタイマー	: 5min
コントロール コード	: 標準
コマンド セット	: DM4
エミュレーション自動検出	: Off
[印刷後動作メニュー]	
オプション自動設定	: On
機能選択	: 手切り
カット動作	: 印刷後
用紙停止位置	: 0.00 inch
設定キー機能	: 設定キー
[インターフェース設定メニュー]	
USB デバイスクラス	: プリンタ
USB VCOMプロトコル	: 自動
USBホスト	: 自動
IPv4 アドレス	: 192.168.3.158
IPv4 サブネットマスク	: 255.255.255.0
IPv4 ゲートウェイ	: 192.168.3.1
IPv4 DHCP	: On
IPv6	: On
[オプションインターフェース設定メニュー]	
シリアル ボーレート	: 9600bps
シリアル パリティ	: 無し
シリアル データ長	: 8 bit
シリアル ストップビット	: 1 bit
シリアル X-ON 制御	: On

*1 ダブルヒート機能が有効の場合、値は 2 倍になります。この機能は印刷のかすれ等を軽減させる為の機能です。この機能を有効にする場合は、Windows ドライバーのプロパティ又はラベルプリンターユーティリティから設定する事ができます。設定方法につきましては、各マニュアルをご参照ください。

注）上記内容はサンプルの一例です。
お客様の設定や、改良のために仕様の一部を変更することがありますので、実際の印刷内容とは異なる場合があります。

グローバル設定

プリンターに 3 種類の設定値を保存することができ、簡単に呼び出すことができます。
［設定番号 1］～［設定番号 3］にそれぞれ異なる設定値を保存することができます。
たとえば、［設定番号 1］の設定を、“印刷速度 4 IPS”、“印刷濃度 18” にし、［設定番号 2］の設定を、“印刷速度 5 IPS”、“印刷濃度 12” にすることができます。
このように 3 種類の設定をすることで、日常的に異なる用紙（ラベル）を扱う場合などに簡単に対応できます。
メニュー設定の “テストモード→印刷パターン→全メニュー設定” で印刷することができます。



全メニュー設定

	現在 有効な設定		
	設定番号 1	設定番号 2	設定番号 3
[印刷設定メニュー]			
印刷速度	6 IPS	5 IPS	4 IPS
印刷濃度	10	12	12
濃度微調整	+00	+00	+00
連続紙用紙長	04.00inch	04.00inch	04.00inch
縦方向印刷位置	+0.00inch	+0.00inch	+0.00inch
横方向印刷位置	+0.00inch	+0.00inch	+0.00inch
縦方向位置シフト	+0.00inch	+0.00inch	+0.00inch
自動横シフト	00dots	00dots	00dots
用紙センサー	透過	反射	透過
頭だしセンサー	Off	Off	Off
頭だし長さ	1.38inch	1.38inch	1.38inch
小型ラベル印字	Off	Off	Off
小型ラベルピッチ	1.00inch	1.00inch	1.00inch
シンボルセット	JS	JS	JS
[システム設定メニュー]			
センサー閾値	1.7V	1.7V	1.7V
ペーパーエンド閾値	2.80V	2.80V	2.80V
エラー報知	動作時	動作時	動作時
ブザー	On	On	On
単位選択	インチ(Inch)	インチ(Inch)	インチ(Inch)
最大用紙長	10.00inch	10.00inch	10.00inch
設定保護	Off	Off	Off
キー操作無効	Off	Off	Off
スタンバイモード	Off	Off	Off
スタンバイタイマー	5min	5min	5min
コントロールコード	標準	標準	標準
コマンドセット	DM4	DM4	DM4
[印刷後動作メニュー]			
オプション自動設定	On	On	On
機能選択	無効	無効	無効
カット動作		印刷後	印刷後
			+0.00inch

各種モードと設定

メニュー設定の一覧

印刷設定メニュー：印刷速度や濃度、印刷方式の印字制御関係やページ書式などの設定
システム設定メニュー：用紙（ラベル）の検出方法やレベル、ブザーの設定、単位系などの設定
印刷後動作設定メニュー：手切り動作やカッター動作などの印刷終了時の設定
インターフェース設定メニュー：インターフェースの各種通信設定
マシン情報、テストモード：プリンターに関する情報の確認やテスト印刷などを行います。
設定番号：プリンターに保存されている設定（3 種類）を切り換えます。

印刷可能状態で設定キーを押すとメニュー設定モードに入ります。表示画面に従い、コントロールパネルのキーで設定を行います。プリンターで設定可能な内容を以下に示します。

トップメニュー	サブメニュー	出荷時	設定範囲	備考
印刷設定	印刷速度	6 IPS	2 ～ 8 IPS	プリント速度の設定
	印刷濃度	DM4：10 DMI：10 DPP：10 ZPI2：10 EPI2：7	DM4 : 00 ～ 30 DMI : 00 ～ 30 DPP : 00 ～ 20 ZPI2 : 00 ～ 30 EPI2 : 00 ～ 15	印刷濃度の調整
	濃度微調整	00	-10 ～ 10	濃度コマンドの微調整
	連続紙用紙長	4.00 inch 101.6 mm	0.25 ～ 99.99 inch 6.4 ～ 2539.7 mm	連続紙の用紙長を設定 (CL-S400DTII) （下段は mm モード時）
		4.00 inch 101.6 mm	0.25 ～ 64.00 inch 6.4 ～ 1625.6 mm	連続紙の用紙長を設定 (CL-S403DTII) （下段は mm モード時）
	縦方向印刷位置	0.00 inch 0.0 mm	-1.00 ～ 1.00 inch -25.4 ～ 25.4 mm	印字開始位置調整
	横方向印刷位置	0.00 inch 0.0 mm	-1.00 ～ 1.00 inch -25.4 ～ 25.4 mm	横方向画像位置調整
	縦方向位置シフト	(Datamax) 0.00 inch 0.0 mm	0.00 ～ 32.00 inch 0.0 ～ 812.8 mm	イメージ作成時の開始位置調整
		(Zebra/EPI2) 000 dots	-120 ～ 120 dots	
	自動横シフト	00 dots	00 ～ 15 dots	1 枚おきに横方向の印刷位置を指定ドット分ずらす。 縦罫線など、部分的にヘッドに負担がかかる場合に有効です。
	用紙センサー	透過	透過 反射 連続紙	ラベルセンサーの選択
	オートローディング	On	On Off	オートローディングの設定 カッター、ピーラー使用時は、オートローディングは OFF にしてください。
	オートロード位置調整	0 inch 0 mm	-0.50 ~ 0.50 inch -12.7 ~ 12.7 mm	オートローディングにおける 1 枚目の印字開始位置の調整 オートローディング設定が On 時に有効
	用紙先端バックフィード	Off	On Off	用紙先端検出センサー位置に用紙の先頭がくるまでバックフィードする設定 オートローディング設定が On 時に有効
	小型ラベル測長	Off	Off 電源 On/ ヘッドダウン 電源 On	オートローディング実行前に短ピッチラベルの測長をおこなう設定 オートローディング設定が On 時に有効

トップメニュー	サブメニュー	出荷時	設定範囲	備考
印刷設定	小型ラベル印字	Off	On Off	小型ラベル対応の設定
	小型ラベルピッチ	1.00 inch 25.4 mm	0.25 ～ 1.00 inch 6.4 ～ 25.4 mm	小型ラベルの用紙長設定
	シンボルセット	JS	50 種類	シンボルセットの設定 シンボルセットは 50 種類あります。 （付録の「仕様」をご参照ください。）
システム設定	センサーモニター	―	―	現在選択されているセンサーのレベルを表示
	センサー閾値	1.5 V	0.0 V ～ 3.3 V	センサーのスレショルドの設定
	ペーパーエンド閾値	3.00 V	0.01 ～ 3.30 V	ペーパーエンドレベルの設定
	エラー報知	動作時	動作時 即時	エラー報知の設定
	ブザー選択	実行 / エラー	実行 / エラー（On） 全て（On） エラー（On） キー操作（On） 無し（Off）	ブザーを鳴らすときの条件設定
	単位選択	インチ（inch）	インチ（inch） ミリ（mm）	単位系の設定
	最大用紙長	10.00 inch 254.0 mm	1.00 ～ 99.99 inch 25.4 ～ 2539.7 mm	ラベル長の最大値を設定
	設定保護	Off	On Off	設定値のコマンドによる変更を禁止
	キー操作無効	Off	On Off	キー操作による変更を禁止 キー操作無効にした場合、メニュー設定モードに入るためには、設定キーを 4 秒以上押してください。
	スタンバイモード	Off	On Off	スタンバイモードの選択 スタンバイモードの設定を On にすると、スタンバイタイマーで設定した時間経過後に省電力状態に移行します。
	スタンバイタイマー	5 min	1 ～ 99 min	スタンバイモードに入るまでの時間を設定します。
	コントロールコード	標準	標準 ALT ALT-2	DMX モードのコマンドモードの切替え （Datamax エミュレーション選択時のみ）
	Media Power Up	Off	On Off	電源 On 時の用紙長測定機能の設定 (Zebra® エミュレーション選択時のみ)
	CI Lock	Off	On Off	CI コマンドによる変更を禁止する (Zebra® エミュレーション選択時のみ)

各種モードと設定

トップメニュー	サブメニュー	出荷時	設定範囲	備考
システム設定	コマンドセット	DM4 (Datamax) ZPI2 (Zebra®)	DM4 DMI DPP ZPI2 EPI2	Datamax コンパチビリティの選択 DM4　Datamax 400 DMI　Datamax IClass DPP　Datamax Prodigy Plus ZPI2　Zebra® ZPL2 ™ EPI2　Zebra® EPL2 ™
	エミュレーション 自動検出	Off	On Off 全自動	エミュレーション自動検出機能の設定
印刷後動作	オプション 自動設定	On	On Off	オプション装置の自動設定 On.... 自動設定有効。“機能選択”の設定に関係なく剥離ユニットまたはオートカッターユニットが装着された場合は自動的に各モードが設定されます。 Off.... 自動設定無効。剥離ユニットまたはオートカッターユニットを装着しているが、剥離またはカット動作をさせたくない場合は Off にし、“機能選択”で動作を選択します。
	機能選択	手切り	無効 手切り 剥離 * カット **	“オプション自動設定”が Off の場合の動作を選択する。各オプションによる用紙停止位置の指定。選択時にその装置の動作を有効にする。フィード量の設定が各オプションごとに変わります。
	カット動作 **	印刷後	印刷後 連続	カッター動作方法の設定 “オプション自動設定”が On でオートカッターユニット装着時または“機能選択”で「カット」選択時のみ表示されます。 「印刷後」は常にカット後にバックフィード 「連続」は複写枚数 =n のときに 1 ～ n-1 枚目の後端は連続、単発と複写の最終頁の後端はバックフィード。
	剥離待ち時間 *	0.1 sec	0.1 ～ 2.0 sec	剥離待ち時間の設定
	用紙停止位置	0.00 inch 0.0 mm	機能選択が「無効」の場合 (印字開始位置（プラテン中心)) 0.00 ～ 2.00 inch 0.0 ～ 50.8 mm 機能選択が「剥離 / カット / 手切り」の場合 (手切り位置 / 剥離位置 / カット位置) -1.00 ～ 1.00 inch -25.4 ～ 25.4 mm	停止位置の調整 インチ / ミリの設定によります。機能選択で設定した装置ごとに停止位置の初期値があり、それからの相対値で設定します。

* オプション剥離ユニット装着時のみ
** オートカッターユニット装着時のみ

各種モードと設定

トップメニュー	サブメニュー	出荷時	設定範囲	備考
印刷後動作	設定キー機能	設定キー	設定キー ラベルセット再印刷 1 枚再印刷	設定キー機能の切替 設定キー..... 設定キーとして機能します。設定キーを再印刷機能に設定した場合、メニュー設定モードに入るためには、設定キーを 4 秒以上押してください。(Zebra® エミュレーションではこの機能は無効) ラベルセット再印刷..... 複数枚再発行します。 1 枚再印刷..... 最終ページのみ 1 枚発行します。カウントの場合は続きから 1 枚のみ発行します。
インターフェース	USB デバイスクラス	プリンタ	プリンタ VCOM	USB デバイスクラスの設定 LAN オプションインターフェースボード装着時は、VCOM は機能しません。
	VCOM プロトコル	自動	自動 DTR X-ON	VCOM 動作時のプロトコル (フロー制御) の設定
	USB ホスト	自動	自動 On Off	USB ホストの設定
	IPv4 アドレス	0.0.0.0	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	IPv4 のネットワークアドレスを設定
	IPv4 サブネットマスク	0.0.0.0	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	IPv4 のサブネットマスクを設定
	IPv4 ゲートウェイ	0.0.0.0	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	IPv4 のゲートウェイを設定
	IPv4 DHCP	On	On Off	IPv4 DHCP の有効 / 無効設定
	IPv6	On	On Off	IPv6 の有効 / 無効設定
オプションインターフェース	シリアル ボーレート	9600	115200 57600 38400 19200 9600 4800 2400	シリアルインターフェースのボーレートの設定
	シリアル パリティ	無し	無し 奇数 偶数	シリアルインターフェースの通信パリティの設定
	シリアル データ長	8 ビット	8 ビット 7 ビット	シリアルインターフェースのキャラクタ長の設定
	シリアル ストップビット	1 ビット	1 ビット 2 ビット	シリアルインターフェースのストップビットの設定
	シリアル X-ON 制御	On	On Off	シリアルインターフェースの X-ON フロー制御の選択設定
	IEEE 1284	On	On Off	セントロインターフェースの双方向の設定

※インターフェース関係の各設定は電源再投入後または再起動後から有効

各種モードと設定

トップメニュー	サブメニュー	出荷時	設定範囲	備考
オプションインターフェース	WLAN モード	―	自動 Ad-Hoc Infrastructure	Wireless LAN モードの設定 （ハイエンド LAN ボード装着時かつ Web モニター動作時）
	WLAN SSID	―	最大 32 文字	Wireless LAN の SSID 設定 （ハイエンド LAN ボード装着時かつ Web モニター動作時）
	Bluetooth セキュリティ	中	中 高	Bluetooth インターフェースのセキュリティレベル設定
	Bluetooth 接続先	全てのデバイス	全てのデバイス 認証済デバイス	Bluetooth インターフェースの接続先設定
	Bluetooth デバイス検索	On	On Off	Bluetooth インターフェースのデバイス検索設定
	Bluetooth iOS 再接続要求	On	On Off	Bluetooth インターフェースの iOS に対する再接続要求の設定
	Bluetooth 接続更新	―	デバイス発見 接続情報消去	“デバイス発見”を選択すると発見可能状態に移行、“接続情報消去”を選択すると保存しているペアリング情報を消去した上で発見可能状態に移行。 ※ Bluetooth インターフェースボードにあるスイッチと同様の機能。
	Bluetooth PIN コード	―	****	Bluetooth インターフェースの PIN コード 初期値はアドレス 12 桁の下位 4 桁 (：は除く)
	Bluetooth アドレス	―	**********	Bluetooth インターフェースのアドレス (：は除く)
	Bluetooth デバイス名	―	CL-S400DTII_**	Bluetooth インターフェースのデバイス名
	Bluetooth ファームウェア バージョン	―	*****_*.**	Bluetooth インターフェースのファームウェアバージョン
	Bluetooth プロファイル	―	SPP,iAP	Bluetooth インターフェースのプロファイル
USB メモリー	設定保存	―	―	プリンター設定を設定ファイルとして保存
	設定復元	―	―	設定ファイルよりプリンター設定を復元
	ファームウェア更新	―	―	プリンターファームウェアの更新
マシン情報	モデルナンバー	―	CL-S***	モデル名を表示
	シリアルナンバー	―	JP********	シリアルナンバーを表示
	Boot バージョン	―	**.*	ブートのバージョンを表示
	ROM バージョン	―	********	ROM のバージョンを表示
	ROM 日付	―	**/**/**	ROM の作成日を表示
	ROM チェックサム	―	****	ROM チェックサムを表示
	FPGA バージョン	―	****.****	FPGA のバージョンを表示
	ヘッドチェック	―	OK NG	ヘッドチェック結果を表示
	印刷カウンター *	―	****.*** km	印刷カウンターを表示

各種モードと設定

トップメニュー	サブメニュー	出荷時	設定範囲	備考
マシン情報	サービスカウンター	―	****.*** km	サービスカウンターを表示
	カットカウンター	―	*******	カットカウンターを表示
	センサーモニター	―	*.* V	センサーのレベルを表示
	オプションインターフェース	―	無し RS-232C※ LAN IEEE1284 Bluetooth	オプションインターフェースの有無を表示 ※ RS-232C インターフェースにおいて、ディップスイッチ 1 が ON の場合、RS-232C(DIP SW) と表示されます。
	シリアル ボーレート			RS-232C インターフェースボードのディップスイッチ 1 が ON の場合に他のディップスイッチで設定されている通信条件を表示
	シリアル パリティ			
	シリアル データ長			
	シリアル ストップビット			
	シリアル X-ON 制御			
	MAC アドレス		xxxxxxxxxxxx	MAC アドレスを表示
テストモード	印刷パターン	現在の設定	現在の設定 全メニュー設定 サンプル	テスト印刷を実施
	ヘッドチェック	しない	する しない	ヘッドチェックを実施
	設定初期化	全て	全て 本体の LAN	全て・・・現在選択されている設定番号の設定値を工場出荷状態に初期化 本体の LAN・・・現在選択されている設定番号の本体の LAN の設定のみを工場出荷状態に初期化
	HEX ダンプ	しない	する しない	HEX ダンプモードの設定
	シリアルモニター	―	―	シリアルインターフェースの状態を表示
	センサー調整	透過	透過 反射	センサーのキャリブレーションを実施
	センサーモニター	透過	透過 反射	センサーのレベルを表示
設定番号	―	設定番号 1	設定番号 1 設定番号 2 設定番号 3	設定番号の設定

*1　ダブルヒート機能が有効の場合、値は 2 倍になります。この機能は印刷のかすれ等を軽減させる為の機能です。この機能を有効にする場合は、Windows ドライバーのプロパティ又はラベルプリンターユーティリティから設定する事ができます。設定方法につきましては、各マニュアルをご参照ください。

注）初期設定（出荷時の設定）に戻すには、設定キーとポーズキーを同時に押したまま電源を投入し、次にフィードキー、キャンセルキーの順に押してください。

USB ホスト機能

本体背面の USB ホストコネクタ (Type-A コネクタ) に USB メモリーを接続することで、以下の機能を提供します。

- USB メモリーによるプリンターファームウェアのアップデート
- USB メモリーへのプリンター設定の保存とその復元

<USB 機器全般の注意事項 >

以下については、本プリンターでは、サポートしておりません。

- USB メモリーのファイルフォーマットが FAT32 以外 (exFAT は未サポート)
- セキュリティ機能付きの USB メモリー
- USB メモリーカードリーダー
- 延長ケーブルや USB ハブ経由での USB 機器接続

<USB メモリーの注意事項 >

プリンター設定保存 / 復元の処理途中で、USB メモリーをプリンターから取り外すことは、おやめください。特に、USB メモリーへのファイル保存処理中に、USB メモリーをプリンターから取り外すと、USB メモリー内のデータを壊す恐れがあります。もし、プリンターからの USB メモリー機能に関する操作が失敗する場合は、PC に USB メモリーを接続し、USB メモリーをフォーマット (データの全消去) してからご利用を開始してください。

USB ホスト設定

[インターフェース] メニュー内の“USB ホスト”を“自動”または“On”にすることで「USB ホスト機能」が有効になります。

自動：プリンター本体電源投入時に USB デバイスの接続に応じて USB のモードの自動判別を行います。プリンター背面の USB ホストインターフェース（Type-A コネクタ）に USB デバイスを取り付けた状態で電源を投入すると、プリンターは USB ホストモードで起動します。

On：　プリンターは USB ホストモードで起動します。

Off：　プリンターは USB ホストモードを Off で起動します。

USB ホストモードで起動すると、LCD の左上部に“USBH”と表示されます。

⚠注意

USB ホストモードでは、以下のインターフェースは使用できません。

- USB インターフェース（Type-B コネクタ）
- IF1-EFX2、IF1-EFX3、IF1-ES04、IF1-WFX4、IF1-WFX6

USB メモリーの接続方法

USB メモリーの接続方法は“USB ホスト設定”が“On”または“自動”の時に使用できます。

＜“ 自動” 設定の場合＞

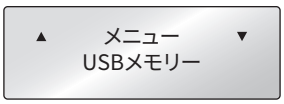
1. プリンター背面の USB ホストインターフェース（Type-A コネクタ）に USB メモリーを取り付けます。
2. 本体の電源を入れます。起動すると LCD 左上部に“USBH”と表示されます。

＜“ On”設定の場合＞

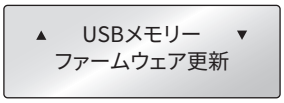
1. 本体の電源を入れます。起動すると LCD 左上部に“USBH”と表示されます。
   この時、USB メモリーが未接続の場合は“USBH”が点滅表示されます。
2. プリンター背面の USB ホストインターフェース（Type-A コネクタ）に USB メモリーを取り付けます。

USB メモリーによるファームウェアのアップデート

1. 準備
   USB メモリーに名前を“JP”としたフォルダーを作成し、フォルダー内にアップデートファイル“UPDATE.bin”を用意します。
2. USB ホスト設定が On 又は Auto 設定でホストが有効の時、USB メモリーをプリンターに接続するとメニューに“USB メモリー ”のメニューが追加されます。



3. “USB メモリー”を選択して►キーを押し、“ファームウェア更新”を選択して►キーを押します。



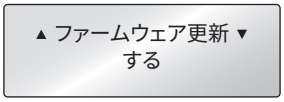
4. アップデート情報を取得し▲キーまたは▼キーで表示を切り換えることで、各情報を確認できます。







5. ►キーを押し、“する”を選択して►キーを押すとアップデートを開始します。



USB ホスト機能

USB メモリーへのプリンター設定の保存

1. 準備
   USB ホスト設定が On 又は Auto 設定でホストが有効の時、USB メモリーをプリンターに接続するとメニューに“USB メモリー ”のメニューが追加されます。次に、“設定保存”を選択して►キーを押します。



2. 設定の保存先選択
   “する”を選択し►キーを押すと現在のプリンター設定が USB メモリーにファイルとして保存されます。



USB メモリーに保存するプリンターの設定対象は、以下になります。また、各グローバル設定に含まれる以下設定とグローバル設定の選択番号も保存対象に含まれます。

USB メモリーへのプリンター設定対象一覧

印刷設定			
・印刷速度	・印刷濃度	・濃度微調整	・ダブルヒート
・連続紙用紙長	・縦方向印刷位置	・横方向印刷位置	・縦方向位置シフト
・自動横シフト	・用紙センサー	・オートローディング	・オートロード位置調整
・用紙先端バックフィード	・小型ラベル測長	・小型ラベル印字	・小型ラベルピッチ
・シンボルセット			
システム設定			
・エラー報知	・ブザー選択	・単位選択	・最大用紙長
・設定保護	・キー操作無効	・スタンバイモード	・スタンバイタイマー
・コントロールコード	・電源オン時の用紙長測定	・CI ロック	・コマンドセット
・エミュレーション自動検出			
印刷後動作			
・オプション自動設定	・機能選択	・カット動作	・剥離待ち時間
・用紙停止位置	・設定キー機能		
インターフェース			
・USB デバイスクラス	・USB VCOM プロトコル		
オプションインターフェース			
・シリアルボーレート	・シリアルパリティ	・シリアルデータ長	・シリアルストップビット
・シリアル X-ON 制御			

< 注意事項 >
設定情報は、USB メモリーの“CLS”フォルダーに、拡張子 .CFG でファイル保存されます。
設定ファイルは、本プリンター独自形式のため、編集等しないようお願いします。

USB メモリーからのプリンター設定の復元

1. 準備
   USB ホスト設定が On 又は Auto 設定でホストが有効の時、USB メモリーをプリンターに接続するとメニューに“USB メモリー”のメニューが追加されます。次に、“設定復元”を選択して►キーを押します。



2. 設定を復元する
   “する”を選択して►キーを押すとファイルからプリンター設定が復元されます。



復元対象となるプリンター設定項目は、「USB メモリーへのプリンター設定対象一覧」をご参照ください。

メニュー設定の一覧 (P42)

エミュレーション自動切替

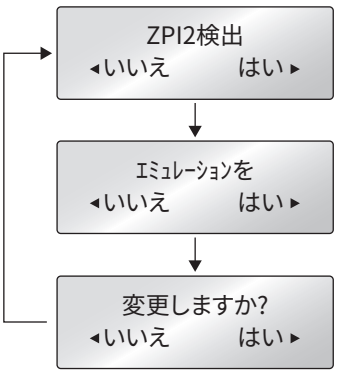
システム設定のエミュレーション自動検出設定が“On”または“全自動”で動作しているエミュレーションと異なる制御言語を受信した場合、自動でエミュレーションが切り替わります。なお、Eltron 言語は検出されません。

エミュレーション自動検出設定が“ 全自動” の場合

起動時にはコマンドセットで保存中のエミュレーションで起動します。その後、最初に受信した制御言語のエミュレーションで動作を継続します。新しいエミュレーションはコマンドセット設定に保存されます。この時、自動的には再起動されません。
その後、手動で再起動を行うと、新たに保存されたエミュレーションの設定で起動します。再起動せずに更にまた別の制御言語を受信すると、最後に受信した制御言語のエミュレーションがコマンド設定に保存され、自動的に再起動します。なお、再起動前に受信したデータは無視されます。

エミュレーション自動検出設定が“ On” の場合

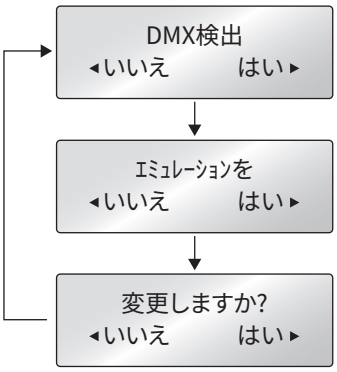
Datamax エミュレーション設定の時に Zebra® エミュレーション (ZPI2) コマンドを受信すると LCD が以下の表示になります。



“はい”を選択すると再起動して自動的に Zebra® エミュレーション (ZPI2) に切り替わります。
“いいえ”を選択するとエミュレーションは切り替わらずオンライン状態に復帰します。
なお、受信したデータは無視されます。
また、この後 Zebra® エミュレーション (ZPI2) コマンドを受信しても無視されます。

エミュレーション自動切替

Zebra® エミュレーション設定の時に Datamax エミュレーション (DM4/DMI/DPP) コマンドを受信すると LCD が以下の表示になります。



“はい”を選択すると再起動して自動的に Datamax エミュレーション (DM4/DMI/DPP) に切り替わります。
“いいえ”を選択するとエミュレーションは切り替わらずオンライン状態に復帰します。
なお、受信したデータは無視されます。
また、この後 Datamax エミュレーション (DM4/DMI/DPP) コマンドを受信しても無視されます。

⚠注意

- メインメニュー「システム設定」にあるサブメニュー「エミュレーション自動検出」が“Off”に設定されていると、エミュレーション自動検出機能が動作しません。
- エミュレーション自動検出機能は設定を“On”にしたあと、プリンターの電源を再投入して有効となります。

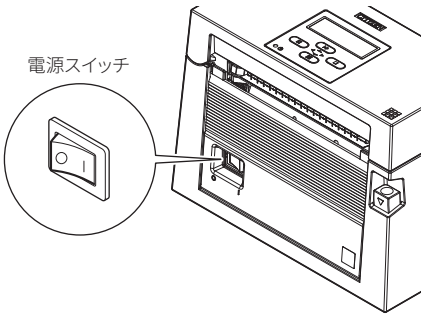
センサー調整

センサー調整には、ラベル検出センサー (透過センサー) と黒線検出センサー (反射センサー)、連続紙検出センサー (反射センサー) の調整があります。
センサー調整を行うには使用するセンサー毎に行います。
各調整はメニュー設定モードもしくは以下の方法で行うことができます。

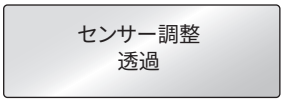
調整モードの入りかた

1. “ポーズキー” + “フィードキー” + “キャンセルキー” を同時に押しながら電源を投入します。





2. “センサー調整” と表示されたらキーを離してください。センサー調整モードに入ります。



センサーの選択方法

ロール紙のセット (P23)

設定キーを押しながらキャンセルキーを押します。押す毎にブザーが鳴りラベル検出センサー (透過センサー) と黒線検出センサー (反射センサー) が交互に切り替わり、4 秒以上押すと連続紙検出センサー (反射センサー) に切り替わります。

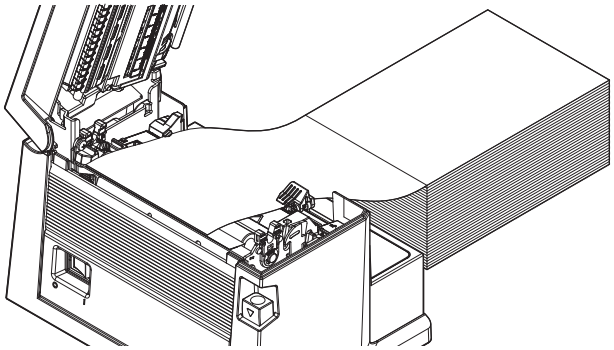


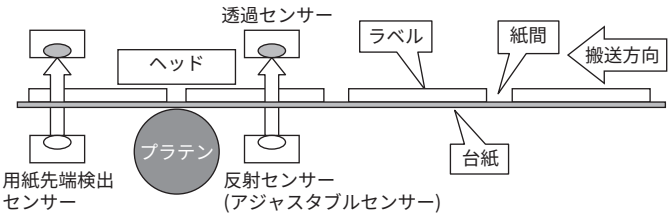
ラベル検出センサー (透過センサー) が選択されると 1 回ブザーが鳴り、" 透過 " と表示されます。
黒線検出センサー (反射センサー) が選択されると 2 回ブザーが鳴ります、" 反射 " と表示されます。
連続紙検出センサー (反射センサー) が選択されると 3 回ブザーが鳴り、" 連続紙 " と表示されます。

ラベル検出センサー (透過センサー) の調整

ロール紙のセット (P23)
センサーの選択方法 (P54)

1. ラベル検出センサー (透過センサー) を選択します。
2. ラベル紙をはがした台紙（グラシン紙）のみをプラテンローラーおよびアッパーセンサー、ボトムセンサー、用紙先端検出センサーにかかるように装着し、プリンターカバーをロックします。（黒線の入った用紙（ラベル）は黒線が用紙センサーにかからないように注意してください。）

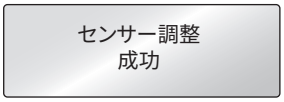




3. 設定キーを押しながらポーズキーを押して離すと、センサーを自動調整します。



4. 自動調整が正常に終了するとディスプレイに“成功”と表示されます。異常終了 (調整が不可能) すると電源 LED が赤色に点灯し、ディスプレイに“失敗”と表示されます。

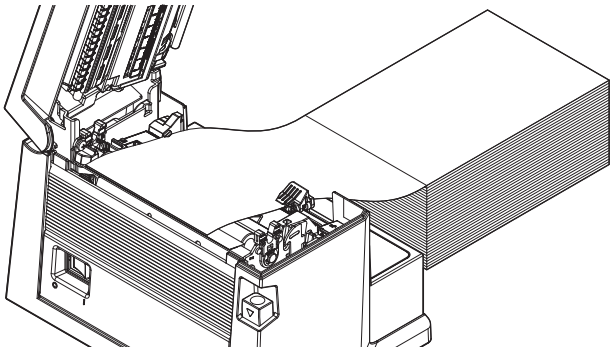


5. 設定を保存する場合は、キャンセルキーを押してください。
ブザーが 1 回鳴り、プリンターが再起動します。

ロール紙のセット (P23)
センサーの選択方法 (P54)

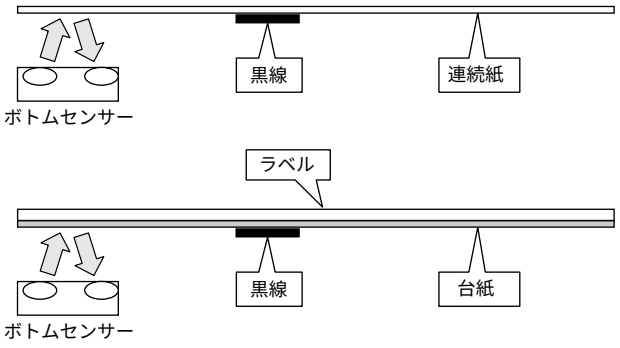
黒線検出センサー (反射センサー) の調整

1. 黒線検出センサー (反射センサー) を選択します。
2. 用紙がプラテンローラーおよび用紙センサーにかかるように装着します。
   黒線および紙間が用紙センサーにかからないようにしてください。



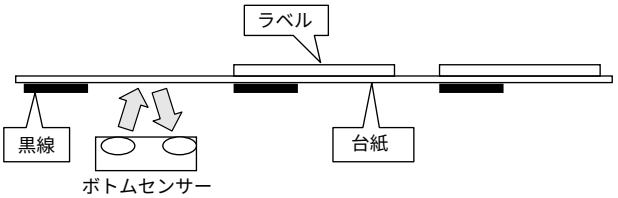
●連続紙、紙間のないラベル紙を使用する場合

黒線のない部分（ラベル紙の場合はラベル紙部分）がプラテンローラーおよび用紙センサーにかかるよう装着します。



●紙間のあるラベル紙を使用する場合

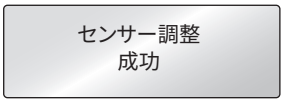
ラベル紙をはがした台紙（グラシン紙）のみがプラテンローラーおよび用紙センサーにかかるように装着します。



3. 連続紙、紙間のないラベル紙を使用する場合、設定キーを押しながらポーズキーを押して離すと、センサーを自動調整します。



4. 自動調整が正常に終了するとディスプレイに“成功”と表示されます。異常終了（調整が不可能）すると電源 LED が赤色に点灯し、ディスプレイに“失敗”と表示されます。

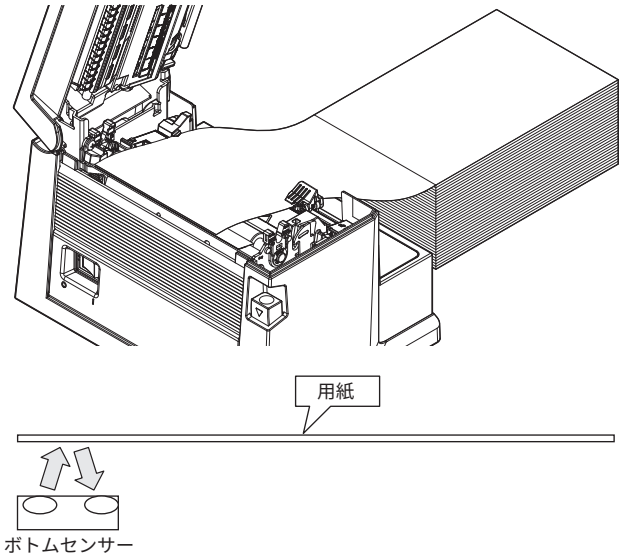


5. 設定を保存する場合は、キャンセルキーを押してください。
ブザーが 1 回鳴り、プリンターが再起動します。

連続紙検出センサー (反射センサー) の調整

ロール紙のセット (P23)
センサーの選択方法 (P54)

1. 連続紙検出センサー (反射センサー) を選択します。
2. 用紙をプラテンローラーおよび用紙センサーにかかるように装着し、プリンターカバーをロックします。(黒線の入った用紙 (ラベル) は黒線が用紙センサーにかからないように注意してください。)

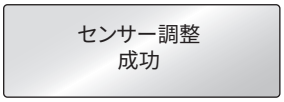


センサー調整

3. 設定キーを押しながらポーズキーを押して離すと、センサーを自動調整します。



4. 自動調整が正常に終了するとディスプレイに“成功”と表示されます。異常終了（調整が不可能）すると電源 LED が赤色に点灯し、ディスプレイに“失敗”と表示されます。



5. 設定を保存する場合は、キャンセルキーを押してください。
ブザーが 1 回鳴り、プリンターが再起動します。

ヘッドオフセット調整

ロール紙のセット (P23)

用紙の種類によって、ヘッドオフセットが違うためオフセット調整が必要になります。本プリンターはヘッドオフセット調整ダイヤルを回すことにより簡単に調整することができます。

- 印刷の品質が悪い場合はヘッドオフセット調整を行ってください。
- 印刷の片側がかすれたり、用紙が蛇行する場合はヘッドバランス調整を行ってください。（次項参照）

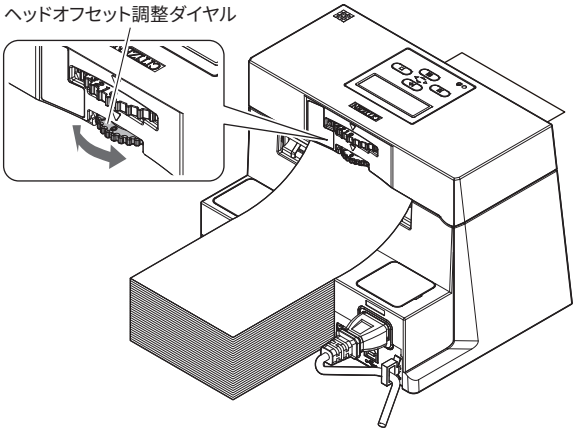
セルフ印刷モード (P35)

推奨感熱ラベル紙、ユポ感熱紙、一般感熱紙の場合

ダイヤルの番号の小さい方から大きい方へとダイヤルを１段ずつ回してテスト印刷をして調整してください。

厚い紙 (タグ感熱紙等) の場合

ダイヤルの番号の小さい方から大きい方へとダイヤルを１段ずつ回してテスト印刷をして調整してください。



ダイヤル		用紙の種類
203dpi	300dpi	
0	0	感熱紙（薄紙）
1	1	感熱ラベル紙、一般感熱紙など
3-5	2-3	ユポ感熱紙などのより厚い紙
6-9	4-6	カード、タグ紙などの厚い紙

これらの値は目安です。実際に使用される用紙の厚さにあったダイヤルに調整してください。

- 工場出荷時はダイヤル“1”に設定されています。
- オフセット調整は用紙の厚さおよび用紙の硬さにより違いが発生します。

ヘッドバランス調整

ロール紙のセット (P23)

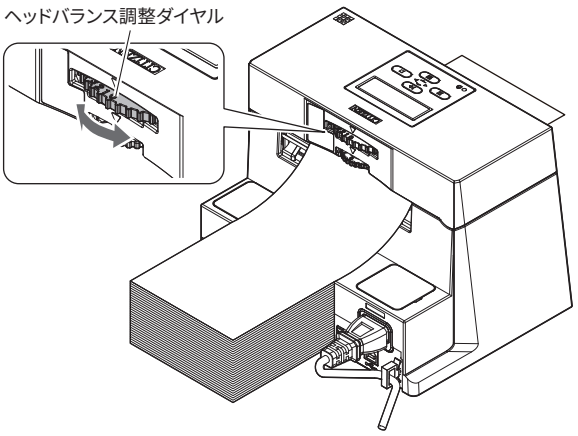
印刷する用紙の幅が変わると、ヘッド圧が変わります。ヘッドに一定のヘッド圧をかけるため、用紙幅に応じてヘッドバランス調整が必要になります。
本プリンターはヘッドバランス調整ダイヤルを回すことにより簡単に調整することができます。
印刷の片側がかすれたり、用紙が蛇行する場合はヘッドバランス調整を行ってください。

セルフ印刷モード (P35)

調整後、テスト印刷をして確認してください。

⚠注意

幅の狭い用紙を使用する場合は、必ず調整を行ってください。（行わないと、ごみの噛み込み等によりヘッドが破損する場合があります。）



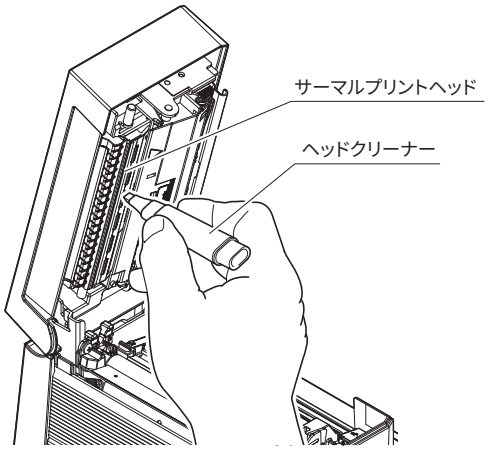
ダイヤル	用紙幅 mm (inch)	ヘッド圧
0	19.5 ～ 23.0 mm (0.77 ～ 0.90)	小 ↓ 大
1	23.0 ～ 30.0 mm (0.90 ～ 1.18)	
2	30.0 ～ 39.0 mm (1.18 ～ 1.53)	
3	39.0 ～ 49.0 mm (1.53 ～ 1.92)	
4	49.0 ～ 62.0 mm (1.92 ～ 2.44)	
5	62.0 ～ 76.0 mm (2.44 ～ 2.99)	
6	76.0 ～ 88.0 mm (2.99 ～ 3.46)	
7	88.0 ～ 99.0 mm (3.46 ～ 3.89)	
8	99.0 ～ 108 mm (3.89 ～ 4.25)	
9	108 ～ 118 mm (4.25 ～ 4.65) (工場出荷設定)	

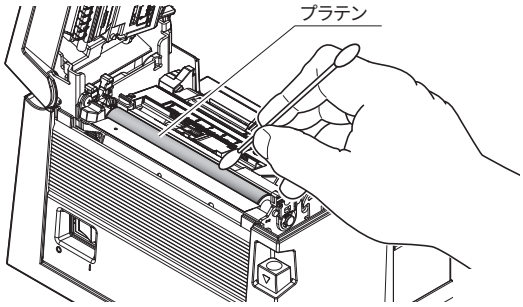
上記数値は目安です。

プリンターのお手入れ

いつでも最良の状態で印字できるように、定期的にプリンターのお手入れをしてください。
本体の表面（プラスチック部）やプラテンは、エチルアルコールを少量つけた柔らかい布、綿棒などで塵やほこりなどを拭き取ってください。
サーマルプリントヘッドは、別売の専用ヘッドクリーナーを使用してください。

注）サーマルプリントヘッドは専用のヘッドクリーナー以外は使用しないでください。別売品のご購入については、販売店にお問い合わせください。





⚠注意

お手入れの際はエチルアルコール以外（ベンゼン、アセトン、シンナー等）の溶剤は使用しないでください。プリンター本体の表面や部品などが変質・変形する恐れがあります。
プラテンのお手入れに過度にエチルアルコールを使用すると表面が硬化する恐れがあります。

トラブルシューティング

ここではトラブルが発生した場合や、エラーメッセージが出たときの対処法について説明します。

トラブル時のチェック項目

プリンター本体の操作中にトラブルが発生したときは、下表を参考にして処置を行なってください。処置を施しても直らない場合は、お買い求め先のサービスマンにご相談ください。

電源の接続 (P16)

症状	チェック	処置
プリンターの電源を投入しても LED が点灯しない	1) 電源コードのプラグが正しくコンセントに差し込まれていますか？	1) 電源コードのプラグを正しくコンセントに差し込んでください。
	2) 電源コードのコネクタが正しくプリンター本体の電源インレットに差し込まれていますか？	2) もう一方の電源コードのコネクタを正しくプリンターの電源インレットに差し込んでください。
	3) 電源コードが損傷していませんか？	3) 電源コードを取り替えてください。その際、本プリンターの専用電源コードをお買い求め先にご相談ください。 注意：本プリンター専用電源コード以外は使用しないでください。
	4) プリンターに使用するコンセントに電気がきていますか？	4) コンセントに電気がきているかをチェックしてください。問題がなければ建物に電気がきているかをチェックしてください。または停電の可能性があるかどうかもチェックしてください。
	5) 建物用フューズボックス内のメインフューズが切れていませんか？	5) 必要ならば建物用フューズボックス内のメインフューズを取り替え、遮断器を再び入れてください。取り替えは、資格を有したサービスマンに依頼してください。

トラブルシューティング

プリンターのお手入れ (P61)

メニュー設定の一覧 (P42)

プリンターのお手入れ (P61)

ヘッドオフセット調整 (P59)

ヘッドバランス調整 (P60)

症状	チェック	処置
用紙はフィードするが何も印刷されない	1) サーマルプリントヘッドが汚れていませんか？ ラベルが付着していませんか？	1) 汚れていれば、別売のサーマルヘッドクリーナーで拭き取ってください。ラベルが付着していれば除去してください。 注意：プリンター内部に付着したラベルを除去するのに金属性の道具は使わないでください（サーマルプリントヘッドを損傷する恐れがあります。）ラベル粘着材がサーマルプリントヘッドに付着した場合は、エチルアルコールを湿した柔らかい布等で拭き取ってください。
	2) 感熱紙と普通紙が正しくセットされていますか？	2) 感熱紙と普通紙の見分け方として、用紙の表面に爪を立て、横に素早く引っかくと、線が入ることを確認してください。線が入るほうが感熱紙です。
本文がきれいに印刷されない	1) 印刷濃度が高過ぎたり又は低過ぎませんか？	1) メニューまたは制御ソフトを通して適正な印刷濃度を設定してください。
	2) プラテンが汚れていませんか、変形していませんか？	2) 汚れていれば、エチルアルコールで拭き取ってください。変形していれば、取り替えてください。 注意：取り替えは、お買い求め先にご相談ください。
	3) サーマルプリントヘッドが汚れていませんか？ ラベルが付着していませんか？	3) 汚れていれば、別売のヘッドクリーナーで拭き取ってください。ラベルが付着していれば除去してください。 注意：プリンター内部に付着したラベルを除去するのに金属性の道具は使わないでください（サーマルプリントヘッドを損傷する恐れがあります。）ラベル粘着材がサーマルプリントヘッドに付着した場合は、エチルアルコールを湿した柔らかい布等で拭き取ってください。
	4) 使用する用紙に対してサーマルプリントヘッドの位置は正しいですか？	4) ヘッドオフセット調整ダイヤルでサーマルプリントヘッドのオフセットを調整してください。
	5) 使用する用紙の幅に対してプリンター本体のヘッド圧バランスは正しいですか？	5) ヘッドバランス調整ダイヤルでサーマルプリントヘッドのヘッド圧を調整してください。

トラブルシューティング

ロール紙のセット (P23)

プリンターのお手入れ (P61)

LED の機能 (P20)

メニュー設定の一覧 (P42)

症状	チェック	処置
印刷位置が変わる	1) 用紙が正しくセットされていますか？	1) 用紙を正しくセットしてください。
	2) プラテンが汚れていませんか、変形していませんか？	2) 汚れていれば、エチルアルコールで拭き取ってください。変形していれば、取り替えてください。 注意：取り替えは、お買い求め先にご相談ください。
	3) データ内容およびホストコンピューターからの信号は適切ですか？	3) もしエラーメッセージが表示されたらソフトの内容およびホストコンピューターに設定された通信状態をチェックしてください。
	4) メニューの設定値は適切ですか？	4) コントロールパネルまたはホストコンピューターを通して正しいメニューの設定値を設定してください。
	5) 使用する用紙に対して用紙センサー感度は適切ですか？	5) 用紙感度を適切な値に設定してください。それでも改善が見られない場合は“システム設定”メニューで“センサー閾値（しきいち）”の値を変更してください。

仕　様

項　目		内　容	
印　字	印刷方式	感　熱	
	解像度	主走査線密度：203 dot/inch (8 dot/mm) (CL-S400DTII) 300 dot/inch (11.8 dot/mm) (CL-S403DTII)	
		副走査線密度：203 dot/inch (8 dot/mm) (CL-S400DTII) 300 dot/inch (11.8 dot/mm) (CL-S403DTII)	
		ヘッド　864 ドット (有効ドット 832dot) (CL-S400DTII) 1248 ドット (有効ドット 1240dot) (CL-S403DTII)	
	最大印刷幅	104 mm (CL-S400DTII) 105 mm (CL-S403DTII)	4.1 inch (CL-S400DTII) 4.1 inch (CL-S403DTII)
	最大印刷長	2539.7 mm (CL-S400DTII) 1625.6 mm (CL-S403DTII)	99.99 inch (CL-S400DTII) 64.00 inch (CL-S403DTII)
	印刷濃度	印刷濃度はプログラムで調整可能	
印刷速度	印刷速度設定	2 ～ 8 インチ / 秒まで 1 インチ単位で指定可能 内巻き用紙は 2 ～ 6 インチ / 秒　推奨	
印刷モード	バッチモード	通常印刷（1 枚または複数枚）	
	手切りモード	印刷終了後、手切りカット位置まで用紙をフィードします。	
	カットモード ＊1	指定枚数単位でカットしながら印刷します。 カットモードには次の 2 種類の動作があります。 ・ 印刷後 ・ 連続（連続は、前回のラベル用紙がカット位置へ来たら現在の印刷を中断してカットします。カット終了後に印刷を再開しますがこのとき印刷の繋ぎ目に隙間ができる可能性があります。）	
	剥離モード ＊1	ラベル印刷後、台紙からラベルを剥離します。	
用　紙＊2	用紙タイプ	ロール、ファンフォールド （連続感熱ラベル紙、感熱ダイカット紙、連続感熱タグ紙、連続感熱チケット紙）	
	用紙種類	感熱紙	
	推奨用紙＊2	感熱紙：ラベル紙（150LA-1 リコー社製)、タグ紙（130LHB リコー社製）	
	最大用紙幅	118.0 mm	4.65 inch
	最小用紙幅	19.5 mm	0.77 inch
	最小ラベル幅	19.5 mm	0.77 inch
	最小用紙ピッチ＊3	6.35 mm	0.25 inch
	最大用紙厚	0.254 mm	0.01 inch
	最大用紙長	2539.7 mm (CL-S400DTII) 1625.6 mm (CL-S403DTII)	99.99 inch (CL-S400DTII) 64.00 inch (CL-S403DTII)
	最小用紙長	6.35 mm	0.25 inch
	最小用紙厚	0.0635 mm	0.0025 inch
	内蔵ロール径	最大外径：127 mm	5 inch
		紙管：25.4 ～ 76 mm 最小紙管外径 (ラベル紙使用時)：50 mm	1 ～ 3 inch

付　録

仕　様

項　目		内　容
バーコード	Datamax エミュレーション	
	1 次元	・Code 3 of 9　・UPC-A　・UPC-E　・EAN-13(JAN-13) ・EAN-8(JAN-8)　・Interleaved 2 of 5　・CODE128 ・HIBC (Modulus 43 を使用した code 3 of 9)　・CODABAR (NW-7) ・Int 2 of 5 (Modulus 10 を使用した Interleaved 2 of 5) ・Plessey　・CASE CODE　・UPC 2DIG ADD ・UPC 5DIG ADD　・Code93　・Telepen ・ITF 14　・ITF 16　・Matrix 2 of 5　・COOP 2 of 5
	2 次元	・Maxi Code　・PDF-417　・Data Matrix　・QR Code　・Aztec ・micro QR　・GS1 QR　・rMQR ・GS1 Databar Omnidirectional (RSS-14) ・GS1 Databar Truncated (RSS-14 Truncated) ・GS1 Databar Stacked (RSS-14 Stacked) ・GS1 Databar Stacked Omnidirectional (RSS-14 Stacked Omnidirectional) ・GS1 Databar Limited (RSS Limited) ・GS1 Databar Expanded (RSS Expanded)
	Zebra® エミュレーション	
	1 次元	・Code 11　・Interleaved 2 of 5　・Code 39　・EAN-8　・UPC-E ・Code 93 ・Code 128　・EAN-13　・Industrial 2 of 5　・Standard 2 of 5 ・ANSI CODABAR　・LOGMARS　・MSI　・Plessey ・UPC/EAN Extensions　・UPC-A　・POSTNET　・Planet
	2 次元	・Code 49　・PDF-417　・CODABLOCK　・Maxi Code ・Micro PDF-417　・Data Matrix　・QR Code　・TLC39 ・Aztec　・micro QR　・GS1 QR　・rMQR ・GS1 Databar Omnidirectional (RSS-14) ・GS1 Databar Truncated (RSS-14 Truncated) ・GS1 Databar Stacked (RSS-14 Stacked) ・GS1 Databar Stacked Omnidirectional (RSS-14 Stacked Omnidirectional) ・GS1 Databar Limited (RSS Limited) ・GS1 Databar Expanded (RSS Expanded)
	Eltron® エミュレーション	
	1 次元	・Code 39　・Code 93　・Code 128　・Codabar　・EAN-8 ・EAN-13　・German Postal Code　・Interleaved 2 of 5 ・POSTNET　・Planet　・Japanese Postnet　・UCC/EAN-128 ・UPC-A　・UPC-E　・UPC-Interleaved 2 of 5　・Plessey(MSI-1) ・MSI-3
	2 次元	・Aztec　・Data Matrix　・MaxiCode　・PDF-417　・QR Code ・micro QR　・GS1 QR　・rMQR ・GS1 Databar Omnidirectional(RSS-14) ・GS1 Databar Truncated(RSS-14 Truncated) ・GS1 Databar Stacked(RSS-14 Stacked) ・GS1 Databar Limited(RSS Limited)

仕　様

項　目		内　容
フォント	Datamax エミュレーション	1. フィックスドピッチフォント 7 種 ・英数字カナ 2. OCR フォント OCR-A、OCR-B 3. プロポーショナルフォント CG Triumvirate smooth font CG Triumvirate Bold smooth font 203dpi : 6、8、10、12、14、18、24、30、36、48 ポイント (CL-S400DTII) 300dpi : 4、5、6、8、10、12、14、18、24、30、36、48 ポイント (CL-S403DTII) ・キャラクターセット : コードページ 850 準拠 4. TrueType ™ rasterizer 5. 漢字フォント（ゴシック体） JIS 第一水準、第二水準、特殊記号、拡張漢字 (16、24、32、48 ドット)
	Zebra® エミュレーション	1. フィックスドピッチフォント 5 種 ・英数字 2. OCR フォント OCR-A、OCR-B 3. プロポーショナルフォント CG Triumvirate Condensed Bold 4. TrueType ™ rasterizer 5. 漢字フォント（ゴシック体） JIS 第一水準、第二水準、特殊記号、拡張漢字 (24 ドット)
	Eltron® エミュレーション	1. フィックスドピッチフォント 5 種 ・英数字 2. フィックスドピッチフォント 2 種 ・数字のみ 3. 漢字フォント（ゴシック体） JIS 第一水準、第二水準、特殊記号、拡張漢字 (24 ドット)
シンボルセット	1 バイト系 (Datamax/Zebra エミュレーション)	・PC866U Ukrainian　・PC Cyrillic　・ISO 60 Danish/Norwegian ・Desk Top　・ISO 8859/1 Latin 1　・ISO 8859/2 Latin 2 ・ISO 8859/9 Latin 5　・ISO 8859/10 Latin 6 ・ISO 8859/7 Latin/Greek　・ISO 8859/15 Latin 9 ・ISO 8859/5 Latin/Cyrillic　・ISO 69: French・ISO 21: German ・ISO 15: Italian　・Legal, Math-8　・Macintosh　・Math ・PC-858 Multilingual・Microsoft Publishing　・PC-8 ・PC-437 USA　・PC-8 D/N　・PC-437N　・PC-852 Latin/Greek ・PC-862 Latin/Hebrew　・Pi Font　・PC-850 Multilingual ・PC-864　・Latin/Arabic　・PC-8 TK　・PC-437T　・PC-1004 ・PC-775 Baltic　・Non-UGL　・Generic Pi Font　・Roman-8 ・Roman-9　・ISO 17: Spanish・ISO 11: Swedish　・Symbol ・PS Text・ISO 4: United Kingdom・ISO 6: ASCII ・Ventura International　・Ventura Math・Ventura US ・Windows 3.1 Latin 1　・Wingdings ・Windows 3.1 Latin 2　・Windows 3.1 Baltic (Latv, Lith) ・Windows 3.0 Latin 1　・Windows Latin/Cyrillic ・Windows 3.1 Latin 5
	2 バイト系 (Datamax エミュレーション)	・EUC　・JIS　・Shift JIS　・Unicode　・KS Code　・GB Code

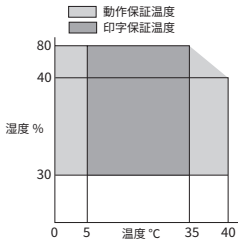
付　録

仕　様

項　目		内　容	
制御言語		Datamax 言語準拠、Zebra® 言語準拠、Eltron® 言語準拠	
電装概要	CPU	32Bit RISC CPU	
	ROM	標準搭載：FLASH ROM 32 MBytes（ユーザー領域 8 MBytes）	
	RAM	標準搭載：SDRAM 64 MBytes（ユーザー領域 4 MBytes）	
メディア検出センサー	透過型センサー	ラベル紙の紙間、タグ紙のノッチ、紙無し検出	
	反射型センサー	用紙裏面の黒線検出、紙無し検出	
	用紙先端検出センサー（透過型）	用紙先端の検出（用紙無駄なし機能、自動給紙機能）	
	剥離ラベル検出センサー*1		
通信インターフェース	LAN	有線 LAN（100BASE-TX/10BASE-T）	
	USB Type B	USB2.0 準拠 Full Speed (12Mbps)	
	USB ホスト (Type A)	USB2.0 準拠 Full Speed (12Mbps)	
通信インターフェース オプション	シリアル	2400 4800 9600 19200 38400 57600 115200bps	
	パラレル	IEEE1284 (コンパチブル、Nibble、ECP Mode)	
	有線 LAN	IF1-EFX3	Ethernet (100BASE-TX / 10BASE-T)
		IF1-EFX2	Ethernet (100BASE-TX / 10BASE-T) + USB2.0 準拠 High-speed 対応× 2
	有線 / 無線 LAN	IF1-ES04	IEEE802.11b, IEEE802.11g, IEEE802.11n, IEEE802.11a, IEEE802.11ac + Ethernet (1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T)
		IF1-WFX4	IEEE802.11n, IEEE802.11a, IEEE802.11g, IEEE802.11b + Ethernet (100BASE-TX / 10BASE-T) + USB2.0 準拠 High-speed 対応
		IF1-WFX6	IEEE802.11n, IEEE802.11a, IEEE802.11g, IEEE802.11b + Ethernet (100BASE-TX / 10BASE-T) + USB2.0 準拠 High-speed 対応× 2
	Bluetooth	Bluetooth 5.0 (BR+EDR)	
表示およびスイッチ	LED	電源、エラー	
	ブザー	アラームやエラー状態時等	
	コントロールパネルキー	ポーズ、フィード、キャンセル、設定	
	ヘッドアップ検出スイッチ	ヘッドオープンを検出	
	電源スイッチ	電源の ON/OFF	
電源		AC100-240 V, 50/60 Hz	
適合規格		VCCI ※ ※ その他の地域、規格番号等の最新の状況については弊社までお問い合わせください。	

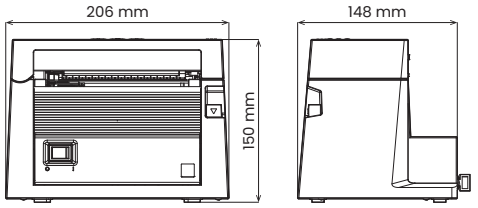
仕　様

項　目		内　容
環境条件	動作温度条件 :	温度 0 ～ 40 ℃、湿度 30 ～ 80 % : 結露無きこと (条件 : 通気性があり自然な対流が得られること)

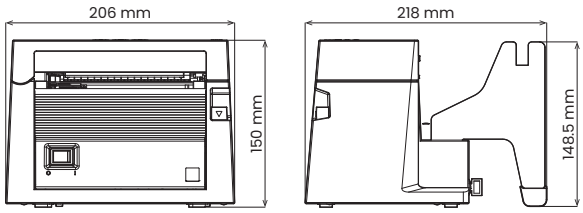


動作および印刷保証条件

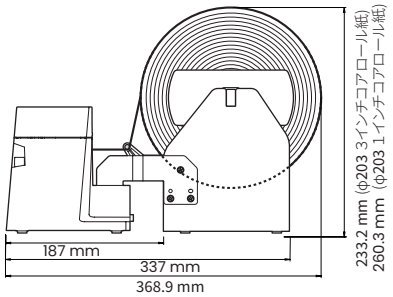
	保存温度条件 :	温度 -20 ～ 60 ℃、湿度 5 ～ 85 % 注)・通気性があり、自然な対流が得られること ・ヘッドアップ状態で保存のこと ・結露なきこと ※但し、高温高湿保存については 40 ℃、85 % RH（非結露）の組み合わせを最悪値とする。
外形寸法		約 206 (W) × 148 (D) × 150 (H) mm



用紙ホルダー装着タイプ：
約 206 (W) × 218 (D) × 150 (H) mm



大容量ロール紙ホルダー仕様の場合



付　録

仕　様

項　目	内　容
重　量	約 3.2 kg
オプション	・オートカッターユニット ・剥離ユニット ・シリアルボード ・パラレルボード ・有線 LAN ボード (標準仕様 / 多機能仕様) ・有線 / 無線 LAN ボード (標準仕様／多機能仕様)、Bluetooth ボード ・大容量ロール紙ホルダー

＊1　別途オプションの購入が必要です。
＊2　推奨紙以外の用紙をご使用の際は、販売店にお問い合わせください。
＊3　1 インチ未満の用紙ピッチを使用する場合は、「印刷設定」の「小型ラベル印字」設定を有効にしてください。
＊4　OCR フォントはリーダーによって認識率が低い場合があります。
＊5　UFST ™、TrueType ™ rasterizer は Monotype Imaging, Inc. よりライセンスを供与されています。

インターフェース

本プリンターはコンピューターに接続され、コンピューターから転送されるコマンドに従って印刷を行います。コンピューターとの接続方法は 2 種類あり、これに適合する機器に接続することができます。また、オプションでシリアル、パラレル、有線 / 無線 LAN、Bluetooth でコンピューターに接続することができます。

USB インターフェース

仕様

規格	Universal Serial Bus Specification に準拠
転送速度	12Mbps (フルスピード) 転送に対応
受信バッファ	16kB
コネクタ	USB Type B

信号線とピン配置

ピン番号	信号略号	信号名	機能
1	VBUS	USB 電源	USB 電源 (+5V)
2	D －	信号線－	－信号線
3	D+	信号線 +	+ 信号線
4	GND	GND	GND

インターフェース

有線 LAN インターフェース

サポートプロトコル

ネットワークレイヤー	ARP、IP、TCP
トランスポートレイヤー	TCP、UDP
アプリケーションレイヤー	DHCP、HTTP、SNMP、Raw Socket Port

Raw Socket Port

印刷データおよびプリンターステータスの双方向通信を行います。

ポート番号	9100（変更可）
ポート通信方向	双方向
ソケット最大接続数	8
印刷可能接続数	1（他ソケットは保留される）
タイムアウト	初期値：60 秒 0 ～ 300 秒の範囲で設定可能。 「0」設定時はタイムアウト無し。

HTTP Server

Web モニター機能により、プリンター本体およびネットワーク関連の設定を行います。
詳細は、「LinkServer を使用したプリンターの各種設定の変更」(P.74) を参照してください。

ポート番号	80
最大同時接続数	4
HTTP バージョン	HTTP/1.1

DHCP

電源を投入後 60 秒以内に、DHCP サーバーから IP アドレスを自動取得します。
自動取得できない場合は、固定 IP アドレス（初期値：169.254.1.10）が適用されます。

SNMP Agent

SNMP エージェント機能により、SNMP マネージャーからの要求に対して応答を行います。

SNMP Version	SNMPv2（Trap 機能は未対応）
ポート番号	161
対応 MIB	HOST-RESOURCES-MIB, Citizen-MIB（Private）
コミュニティー名	public

コネクタ接続

● 適合コネクタ
　プリンター側：RJ-45 コネクタ

⚠注意

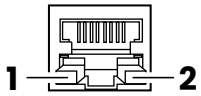
■ USB ケーブルを誤って挿入しないようにしてください。ケーブルまたはコネクタが破損する恐れがあります。
■ 標準搭載の有線 LAN インターフェースでは XML 形式データでの印刷は行うことができません。

インターフェース

ピン No.	信号名	機能
1	TX+	送信（+）
2	TX-	送信（-）
3	RX+	受信（+）
4	N.C.	—
5	N.C.	—
6	RX-	受信（-）
7	N.C.	—
8	N.C.	—

LED の機能

各 LED の表示内容は次の通りです。



1: ネットワークの通信速度表示

通信速度	LED（緑）
100 Mbps	点灯
10 Mbps/ 接続断	消灯

2: ネットワークのステータス表示

表示内容	LED（黄）
接続中	点灯
接続断	消灯
データ通信中	点滅

インターフェース

LinkServer を使用したプリンターの各種設定の変更

本機に搭載されている LinkServer 機能を使用して、Web ブラウザーまたは Android アプリからプリンター本体およびネットワーク関連の設定変更を行うことができます。

メモ

■ Android はアプリのダウンロードと、お客様にて USB ケーブルをご用意頂く必要があります。

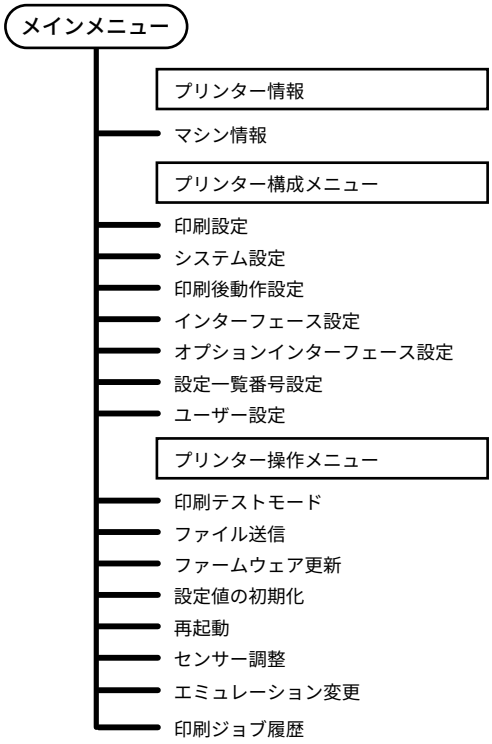
Android アプリは Google Play よりダウンロード可能です。
https://play.google.com/store/apps/details?id=com.citizen.app.linkserver

LinkServer のユーザー権限

LinkServer には User、Operator、Administrator の 3 種類のユーザー権限があります。
ユーザー権限ごとに表示メニューを変更でき、LinkServer の操作に制限を付与できます。
接続時は User 権限の Home 画面が表示されます。

LinkServer のメニュー構成

LinkServer のメニュー構成は下図のとおりです。



・プリンター情報ではプリンター本体の情報を表示します。
・プリンター構成メニューではプリンターの設定変更ができます。
・プリンター操作メニューではプリンター操作ができます。

インターフェース

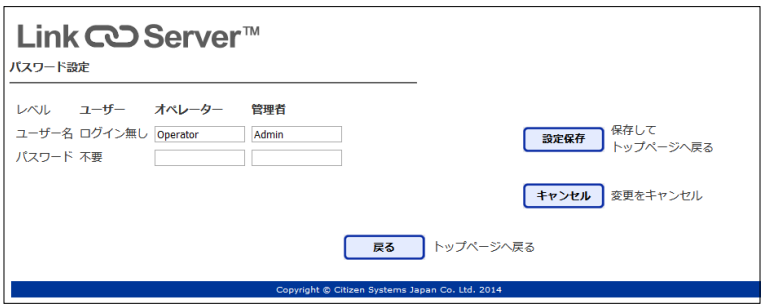
LinkServer の接続方法

有線 LAN

1. Web ブラウザを立ち上げて、接続するプリンターに設定されている IP アドレスをアドレスバー（赤枠部）に入力します。
   （表示例 http://192.168.0.3 と入力してください。）



2. [LOG IN] ボタンを押して、認証画面を表示します。工場出荷状態では認証用パスワード設定画面が表示されます。



Web モニターでは、User、Operator、Administrator の 3 種類のユーザー権限があります。Operator 権限と Administrator 権限のユーザー名とパスワードを入力後に、[設定保存] ボタンを押すと、認証情報をプリンターに保存します。その後、[ログイン] ボタンを押すと認証画面が表示されますので、設定した認証情報を入力してください。

メモ

- 半角英数字および記号で 1 ～ 20 文字を必ず指定してください。
- Operator 権限のユーザー名とパスワードに "Operator" は指定できません。
- Administrator 権限のユーザー名とパスワードに "Admin" は指定できません。

インターフェース

3. Home 画面を表示する。
   認証に成功すると、Operator 権限または Administrator 権限の画面が表示されます。

Home 画面（Administrator 権限）



User 権限と Operator 権限のメニュー表示内容は UserSettings メニューで変更できます。

メモ

■ 設定したユーザー名とパスワードを忘れた場合、メニュー設定モードより、[テストモード（トップメニュー）] の " 設定初期化（サブメニュー）" より、" 本体の LAN" を選択し、本体の LAN の設定を初期化します。その後、改めて認証情報を設定してください。

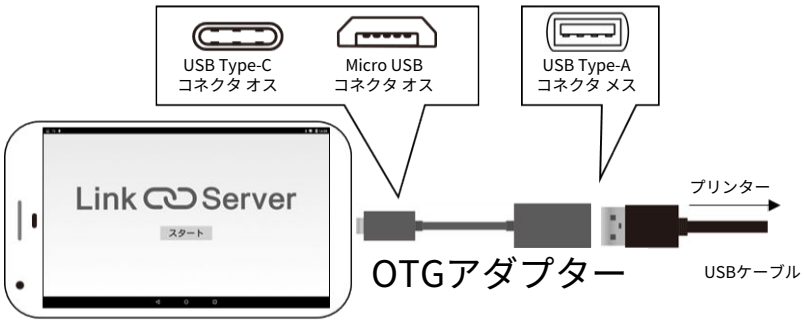
4. Home 画面でメニューボタンを押し、操作を行います。
   • プリンター情報：プリンター本体の情報を表示できます。
   • プリンター構成メニュー：ラベルプリンターユーティリティでの設定と同様の設定ができます。
   • プリンター操作メニュー：プリンター操作ができます。
5. 操作が終了したら、[LOG OUT] ボタンを押してログアウトします。
   ログアウトすると User 権限の Home 画面に戻ります。

インターフェース

USB (Android 端末)

1. 準備

お客様にて「USB OTG (On-The-Go) アダプター」をご用意頂く必要があります。
「USB OTG (On The Go) アダプター」により、Android 端末側に接続する micro USB や Type-C のオスから Type-A のメスへ変換し、その先は通常パソコンとプリンターの接続に使用する Type-A オス -Type-B オスのケーブルを使用し、Android 端末側をホスト扱いとする必要があります。



2. 使用方法

Android 端末と対象プリンターを前述の通り接続すると、アプリが自動的に起動します。

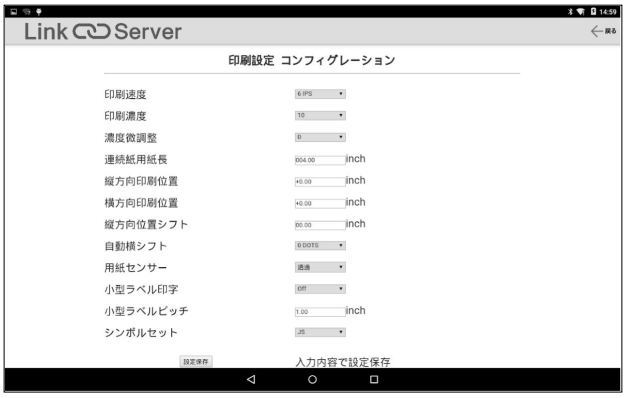


インターフェース

プリンター情報の確認、各種設定が可能です。



「SAVE」ボタンでプリンターに設定を反映させます。
これによりプリンターは再起動し、設定が反映されます。
続けて操作を行う場合はプリンターが完全に再起動するのを待ちます。



インターフェース

シリアルインターフェース（オプション）

仕様

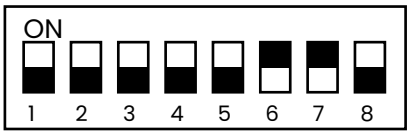
転送方式	調歩同期式全二重通信
信号レベル	RS-232C
ボーレート	2400、4800、9600、19200、38400、57600、115200bps
データ長	7 ビット、8 ビット
ストップビット	1 ビット、2 ビット
パリティ	偶数、奇数、無し
コネクタ	D-SUB 25PIN

信号線とピン配置

ピン番号	信号略号	信号名	機能
1	FG	保安用アース	保安用アース
2	TXD	送信データ	プリンターが外部機器へデータを出力する信号線
3	RXD	受信データ	外部機器からプリンターがデータを入力する信号線
4	RTS	送信要求	プリンターがデータ受信可能なときにアクティブになる信号線
5	CTS	送信可能	外部機器がプリンターに対して、データ受信可能なときにアクティブになる信号線
6	DSR	データセットレディ	外部機器がプリンターと通信可能の状態のときアクティブとなる信号線
7	SGND	信号線アース	信号線のグランドレベルを示す
8-13	NC	—	未使用
14	VCC	+3.3V	(FACTORY USE ONLY)
15-19	NC	—	未使用
20	DTR	データ端末レディ	プリンターが外部機器と通信可能の状態のときアクティブとなる信号線
21-25	NC	—	未使用

ディップスイッチ

インターフェース基板上にあるディップスイッチを使用して、通信条件の設定を変更することができます。



DIP スイッチ

インターフェース

各スイッチの機能は以下の通りです。

スイッチ番号	機能	ON	OFF（工場出荷設定）
1	通信条件設定選択	ディップスイッチの設定に従う	プリンター本体の設定に従う
2	ハンドシェイク	XON / XOFF	DTR / DSR
3	ビット長	7 ビット	8 ビット
4	パリティチェック	あり	なし
5	パリティ選択	偶数	奇数
6	ボーレートの選択	下表を参照	
7			
8	予約	—	—

ボーレートの選択

スイッチ番号		ボーレート（bps）
6	7	
OFF	OFF	2400
ON	OFF	4800
OFF	ON	9600
ON	ON	19200（工場出荷設定）

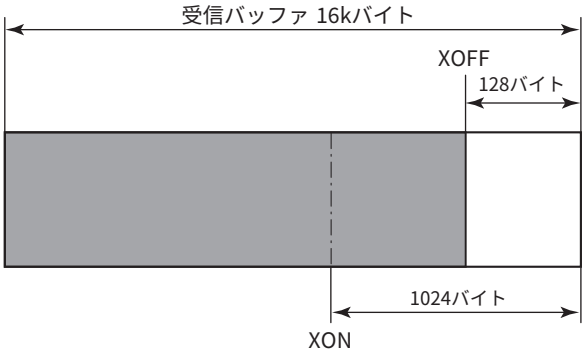
XON/XOFF プロトコル

XON コードを出力する条件

- 電源投入後に通信可能となったとき。
- 受信バッファの残り容量が 128 バイト以下となり、XOFF を出力してから受信バッファの残り容量が、1024 バイト以上になったとき。

XOFF コードを出力する条件

- 受信バッファの残り容量が、128 バイト以下になったとき。



DTR プロトコル

DTR 信号が、“ Ready (High)” になる条件

下記の条件を全て満たしていること

- 受信バッファの残り容量が、128 バイト以上のとき。

※ただし受信バッファの残り容量が、128 バイト以下となり DTR 信号が、BUSY（Low）状態になった場合は、受信バッファの残り容量が、1024 バイト以上になるまでは、BUSY 状態を保持する。

DTR 信号が、“ Busy (Low)” になる条件

- 受信バッファの残り容量が、128 バイト以下になったとき。

インターフェース

パラレルインターフェース（オプション）

仕様

転送方式	8 ビットパラレルデータ
受信バッファサイズ	16kB
転送モード	コンパチブルモード： 非同期、バイト幅の順方向（ホストからプリンター）チャネルであり、データのインターフェース・ラインは、セントロニクスの信号線定義に従って動作します。 NIBBLE モード： ニブルモードはホストコンピューターがデータ転送を制 御し、非同期の逆方向転送を行います。逆方向転送時のデータは 4 本ステータスライン (FAULT、SELECT、PE、BUSY) を使用し、2 回に分けてニブル転送します。 また、ニブルモードはコンパチブルモードと共に使用することで、双方向データ転送が可能となります。 ECP モード： ECP モードは非同期の双方向データ転送が可能で、インタロックハンドシェークにより、コンパチブルモードで必要であったタイミングが不要となります。
信号レベル	IEEE1284 準拠

信号線とピン配置

ピン番号	信号名	入出力	機能
1	*STROBE	入力	8 ビットデータを読み込むためのストローブ信号
2-9	DATA1-8	入力	8 ビットパラレル信号
10	*ACKNLG	出力	8 ビットデータ要求信号
11	BUSY	出力	プリンターの BUSY 状態を示す信号
12	PERROR	出力	紙なしを示す信号
13	SELECT	出力	プリンターがオンライン状態 (印刷可能) にあるか、オフライン状態 (待機状態) にあるかを示す信号
14	*AUTOFD	入力	無効 (無視されます)
15	NC	―	未使用
16	GND	―	グランド
17	FGND	―	フレームグランド
18	P.L.H	出力	Peripheral Logic High (10 k Ωで +5V にプルアップされています)
19-30	GND	―	ツイストペアリターン用グランド
31	*INIT	入力	プリンターのリセット
32	*FAULT	出力	プリンターにエラーが発生したことを示す信号
33-35	NC	―	未使用
36	*SELECTIN	入力	無効 (無視されます)

インターフェース

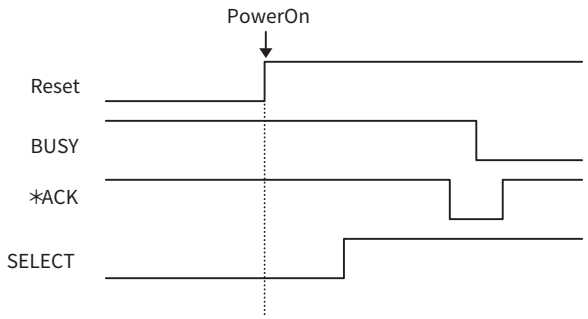
エラー発生時のパラレルポート・ステータス信号

双方向モード（ニブル、ECP モード時）には、各信号線はエラー発生時でも変化しません。

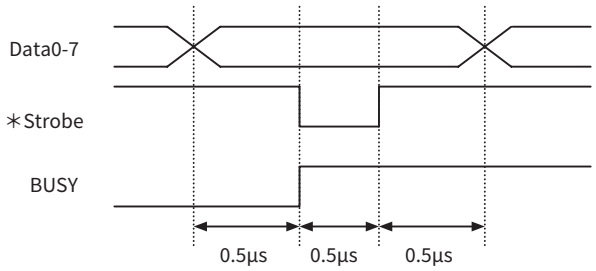
エラー内容	コンパチブルモードでの各ステータス信号線の変化
ペーパーエンド	Busy　: L → H PError　: L → H Select　: H → L nFault　: H → L
ペーパーエンド以外のエラー ・ヘッドオープン ・その他	Busy　: L → H PError　: L →変化なし Select　: H → L nFault　: H → L
Busy となる条件	・受信バッファフル ・データ読取中 ・エラー発生

コンパチブルタイミング仕様

【電源投入時】(オンラインになるタイミング)



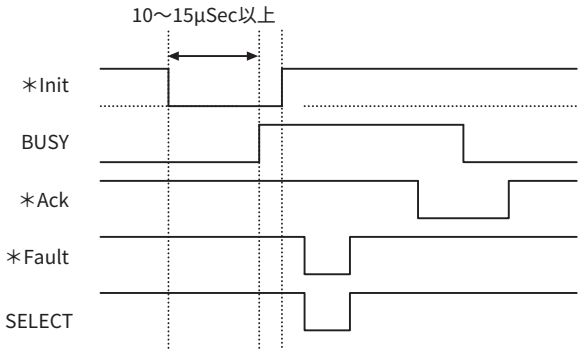
【データ受信時】



※*Strobe 信号の立ち下がりで BUSY があがりデータは、*Strobe 信号の立上がりで Data をラッチします。

インターフェース

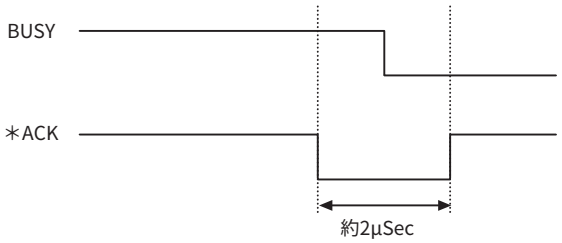
【INIT 信号受信時】



※*Init 信号は、約 10 ～ 15 μ Sec 以上幅が無いと INIT 信号として働きません。それ以下の場合は *Init 信号は無視されます。
*Init 信号を認識した時点で BUSY が立ち上がります。

BUSY 信号と *ACK 信号のタイミング関係

【センタ -ACK】



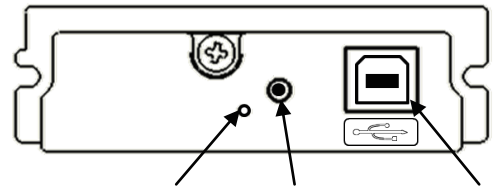
インターフェース

Bluetooth インターフェース（オプション）

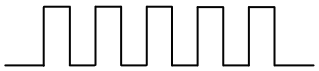
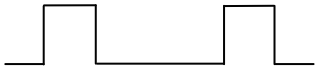
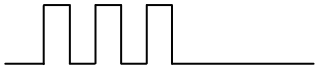
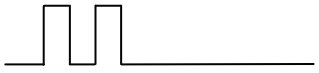
仕様

バージョン	Bluetooth5.0 (BR+EDR)
プロファイル	SPP (Serial Port Profile) iAP2 (Interface Accessory Protocol)
電力クラス	Class2 (10 m)　* 障害物が無く見通しの良い状態
周波数帯域	2.400 ～ 2.483 GHz
電源仕様	約 2.3 mA (通信時 平均 14.2 mA、最大 52 mA)
デバイス名	“CL-S400DTII_XX” (XX はシリアル番号末尾 2 桁、出荷時設定)

各部の名称



Bluetooth ステータス LED

状態	内容	ステータス LED (緑)
発見待ち	接続する相手から発見または接続されるのを待っている状態	 点滅 (点灯 :125 ms、消灯 :125 ms)
接続待ち	接続する相手から接続されるのを待っている状態	 点滅 (点灯 :250 ms、消灯 :750 ms)
iAP 接続	iOS デバイスからデータ・セッションが開かれるのを待っている状態	 3 回点滅、長い消灯の繰り返し
通信可能	(SPP/iAP) データ転送が可能な状態	 2 回点滅、長い消灯の繰り返し
エラー	エラーまたは Bluetooth 設定中の状態	消灯

インターフェース

ペアリング操作

Bluetooth 通信をするには、初回 Bluetooth 接続時に以下操作を行います。

1) Bluetooth デバイス検索
   ホストの Bluetooth が有効なことを確認し、Bluetooth のデバイス検索を行ってください。
   本製品は、デバイス検索で“CL-S400DTII_XX”(XX は、固有のシリアル番号の末尾 2 桁) と表示されます。
   デバイス検索された本製品を選択してください。
2) ペアリング
   通常、デバイス検索でプリンターを検索すると、ペアリング設定に移行します。

注 : ホストの設定や種類によっては、ペアリング設定に移行しないことがあります。

機能

1) LED による通信状態表示
2) セキュリティ設定有り (認証、暗号化、デバイス検索制限)
   本製品では高、中の 2 段階のセキュリティレベルが用意され、メニュー設定にて選択できます。
   セキュリティレベルの違いは、認証要求と暗号化要求の有無によるものです。
   認証要求を求められるのは、サービス検索か iAP/SPP 接続を開始する際であり、2 段階のセキュリティレベルの認証要求と暗号要求は、端末側の SSP のサポートの有無も含め、以下のような関係になります。

＜ SSP 非サポート端末＞

セキュリティ設定	サービス検索 認証要求	PIN コード 接続認証	SPP 接続 認証要求	暗号化要求
中	しない	する	する	する
高	する	する	する	する

＜ SSP サポート端末＞

セキュリティ設定	サービス検索 認証要求	PIN コード 接続認証	SPP 接続 認証要求	暗号化要求
中	しない	しない	する	する
高	する	しない	する	する

注 :要求「しない」場合も、接続相手から要求があれば要求に従ってください。
   セキュリティ中設定の暗号化は認証された iAP/SPP 接続でのみ有効です。

3) ペアリング情報保持機能 (最大 8 件、8 件を超える場合は最近の 8 件を保存)
4) SSP (セキュアシンプルペアリング) または PIN コードによる接続を承認します。
   PIN コード初期値はセルフ印字によって印字されるアドレス 12 桁 (コロン“:”を除く) の下位 4 桁であり、PIN コードが英字 (A ～ F) の場合は大文字を指定してください。
   (例 : 01:23:45:67:89:AB の場合は 89AB が初期の PIN コードになる)
   SSP 機能の有るホストでは、追加操作無しでペアリングが確立します。
   SSP 機能の無いホストでは、PIN コードが要求されますので入力してください。
5) 接続更新スイッチ
   このスイッチを 1 回押すことで発見可能状態に移行します。また、2 秒以上押すと保存しているペアリング情報を消去した上で発見可能状態へ移行します。
   ホストのペアリング情報を削除した場合、プリンター側でもペアリング情報を削除しないと、再度デバイス検索をしても検索で表示されないことがあります。その際は接続更新スイッチでペアリング情報を削除して発見可能状態へ移行させてください。

インターフェース

6) iOS 再接続要求機能
iOS デバイスの Bluetooth 通信では、ペアリングした iOS デバイスとプリンター間の通信が中断しても、自動的には通信が回復しません。しかし、再接続要求機能を有効にしておけば、双方が通信できる状態に復帰すると、プリンターが iOS デバイスに再接続を試み、自動的に通信が回復します。
注 1: 工場出荷設定状態ではこの機能は有効になっています。
注 2: iOS 以外のホストでは、この機能により接続に時間がかかることがあります。
注 3: 通信相手が iOS デバイスでも、以下の場合は再接続要求機能が通信の妨げになることがあります。
・印刷終了ごとに Bluetooth 通信を切断したい場合
・そのプリンターに印刷する iOS デバイスが複数ある場合これらの場合には、再接続要求機能を無効にしてください。

＜注記＞

※ 1： 電源投入時に Bluetooth モジュール等の初期設定等を行いますので、起動完了までに数秒程度かかる場合があります。

※ 2： ホスト側より大量のデータを転送する場合は、プリンターおよびホスト側とも転送データバッファフル状態にならないよう、使用者側にて転送時間、転送データ量調整等の制御を行ってください。

※ 3： USB コネクタはホストとの通信には使用できません。

ミドルレンジ・オプション有線 LAN/ 無線 LAN インターフェース（IF1-EFXx、IF1-WFXx）

XMLWeb アプリに対応したミドルレンジ・オプション有線 LAN/ 無線 LAN インターフェース。
本ボードの詳細については、別冊のマニュアルをご覧ください。

ハイエンド・オプション有線 LAN/ 無線 LAN インターフェース（IF1-ESxx）

多彩なプロトコルに対応したハイエンド・オプション有線 LAN/ 無線 LAN インターフェース。
本ボードの詳細については、別冊のマニュアルをご覧ください。

- MEMO -

CL-S40XDTII_UM_110_JP
PMC-2607